

子牛の下痢症の診断および治療 についての全国アンケート

日本家畜臨床感染症研究会事務局
(作成責任者: 菊 佳男)

独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構
動物衛生研究所

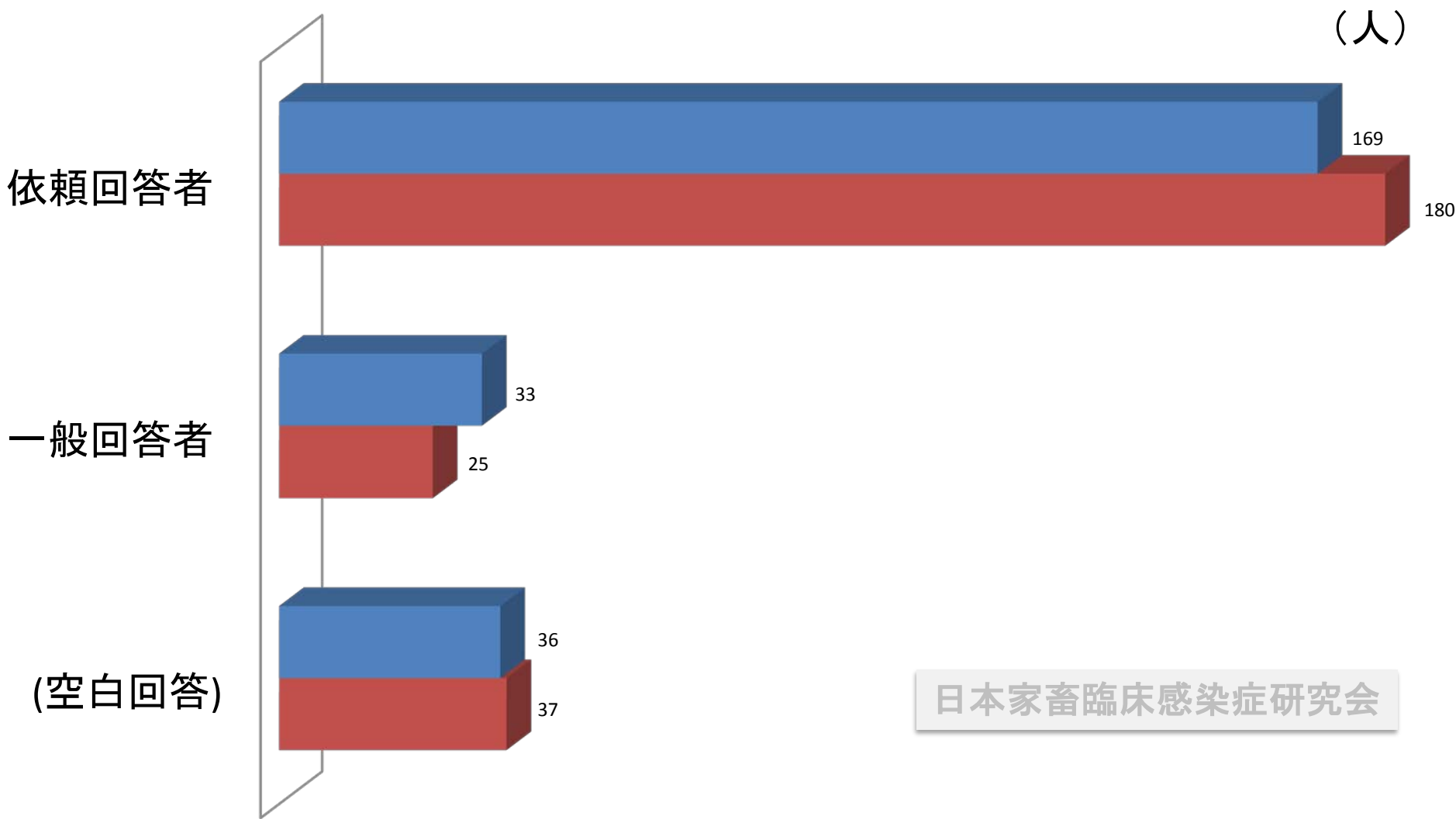
〒305-0856 茨城県つくば市観音台3-1-5

TEL: 029-838-7795、FAX: 029-838-7795

e-mail: yokiku@affrc.go.jp

回答者について

■ ホルスタイン ■ 黒毛和種

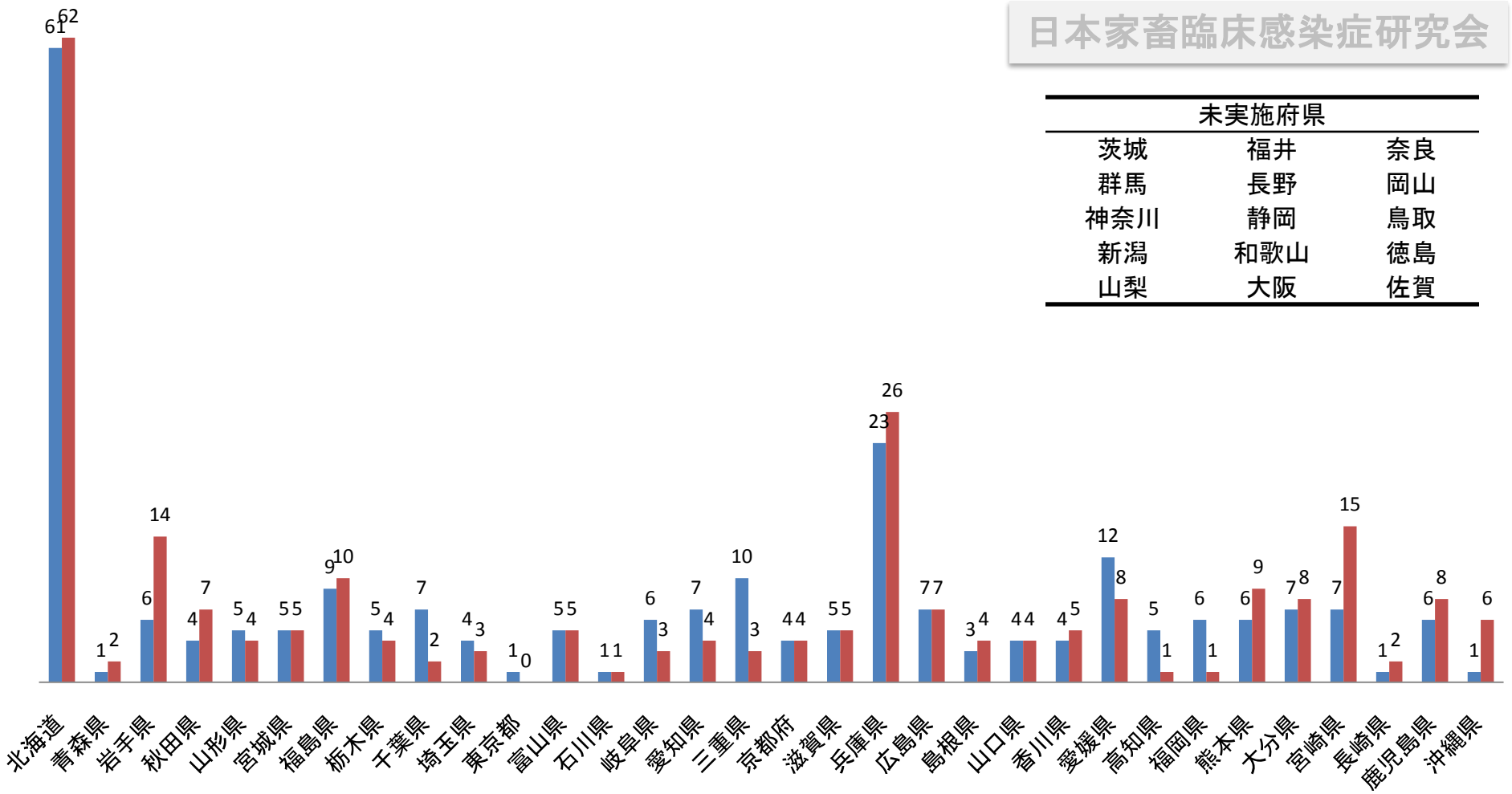


都道府県名

■ ホルスタイン ■ 黒毛和種

(人)

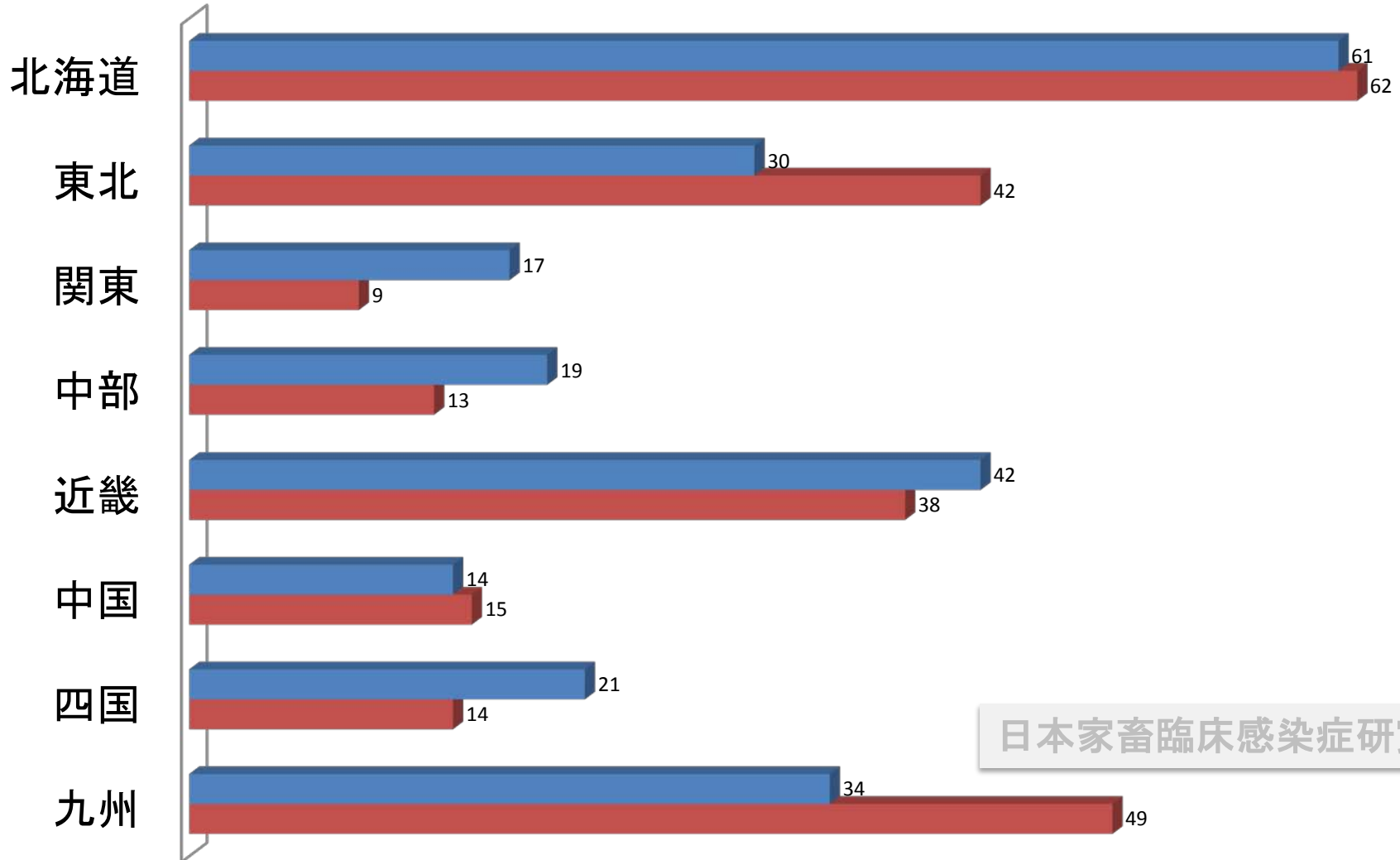
日本家畜臨床感染症研究会



地方名

■ ホルスタイン ■ 黒毛和種

(人)



所属

■ ホルスタイン ■ 黒毛和種

(人)

NOSAI

204

213

開業

16

17

その他の団体

6

6

(空白回答)

12

6

性別

■ 男性 ■ 女性 ■ (空白回答)

(%)

ホルスタイン

84.9

10.5

4.6

黒毛和種

88.4

8.7

2.9

年齢

50代≦ 40代 30代 20代 (空白回答)

(%)

ホルスタイン



黒毛和種

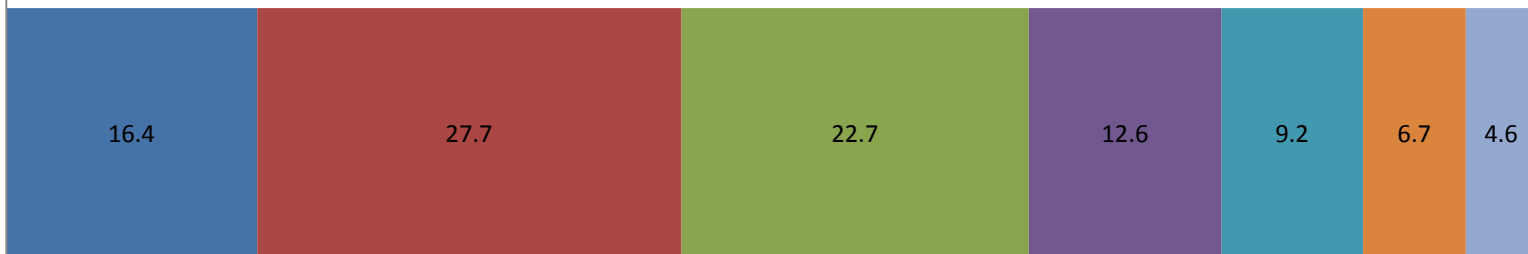


臨床経験

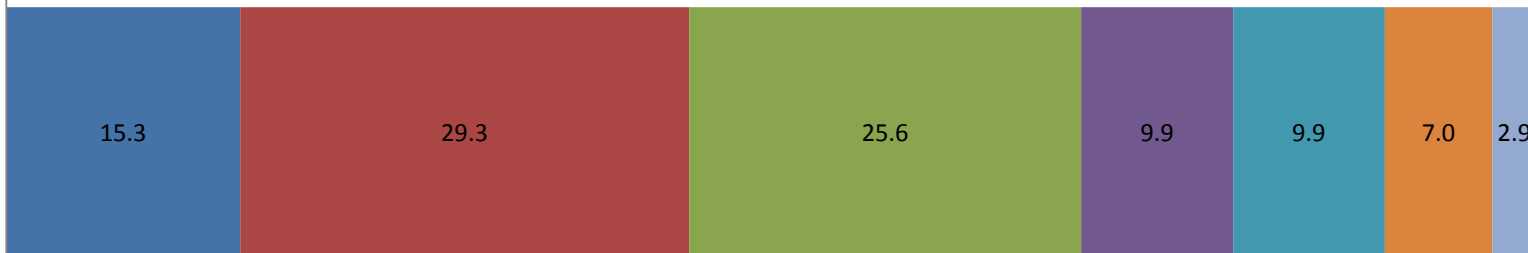
- 30年～
- 20～29年
- 10～19年
- 6～9年
- 3～5年
- 0～2年
- (空白回答)

(%)

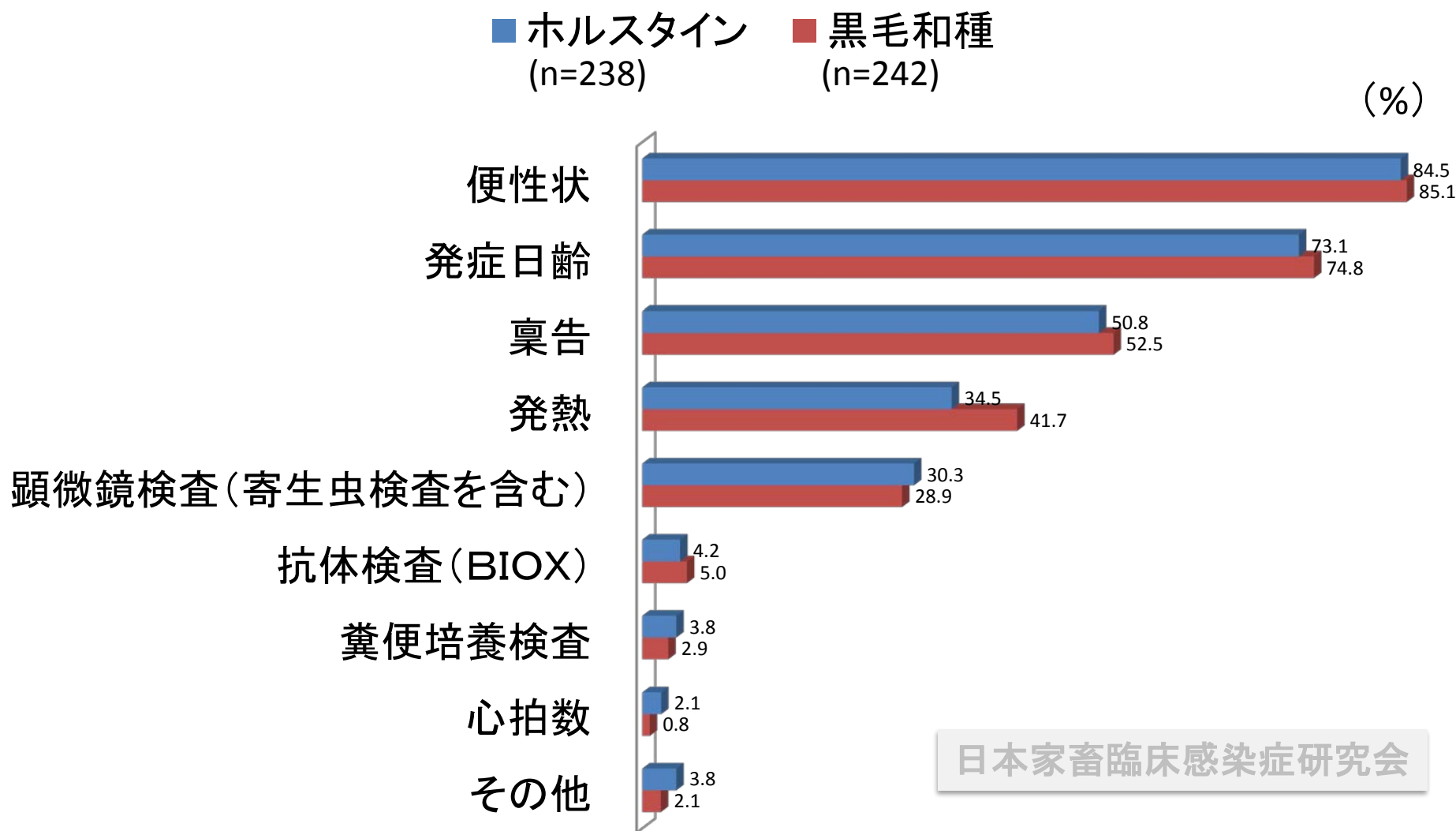
ホルスタイン



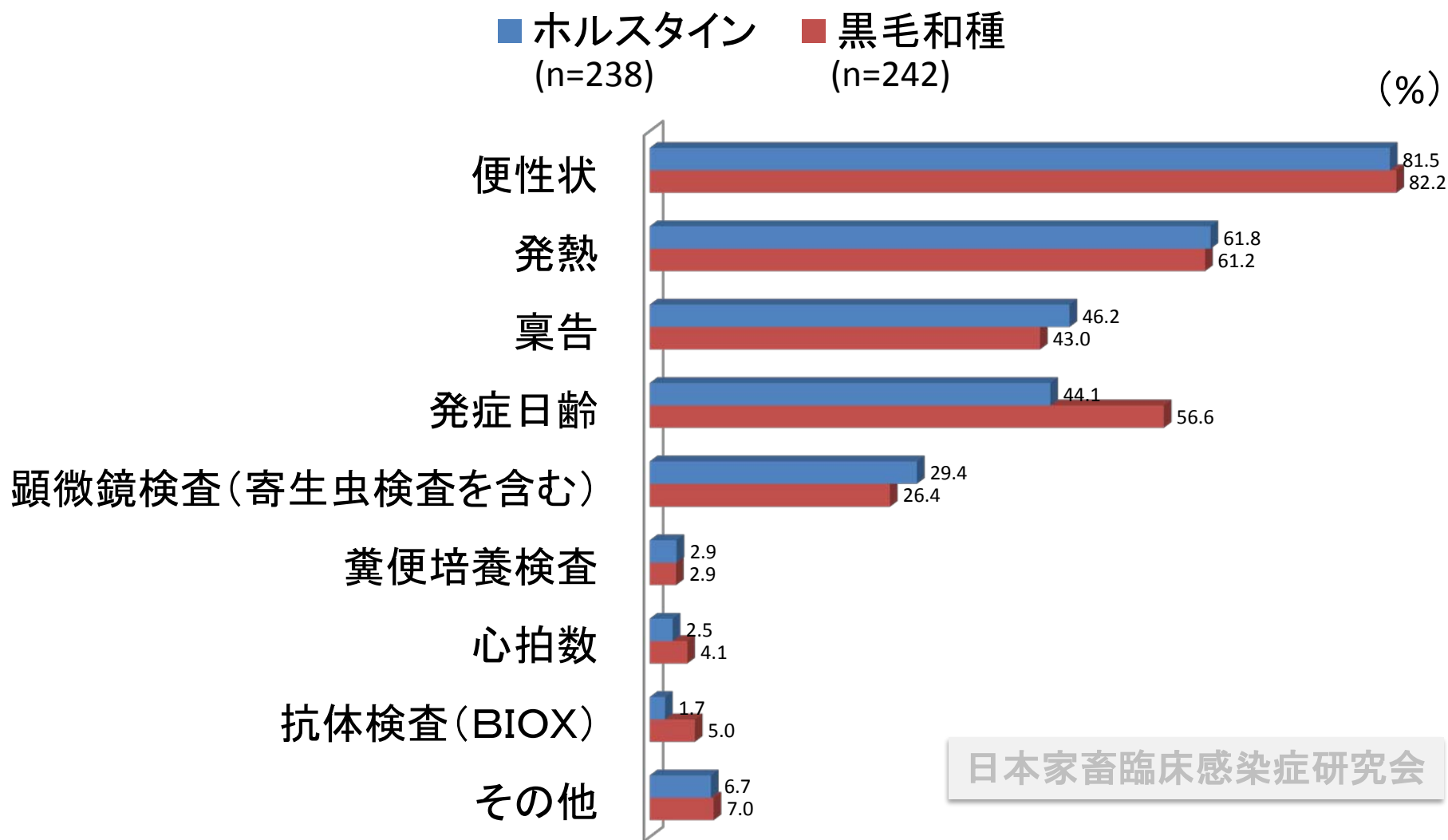
黒毛和種



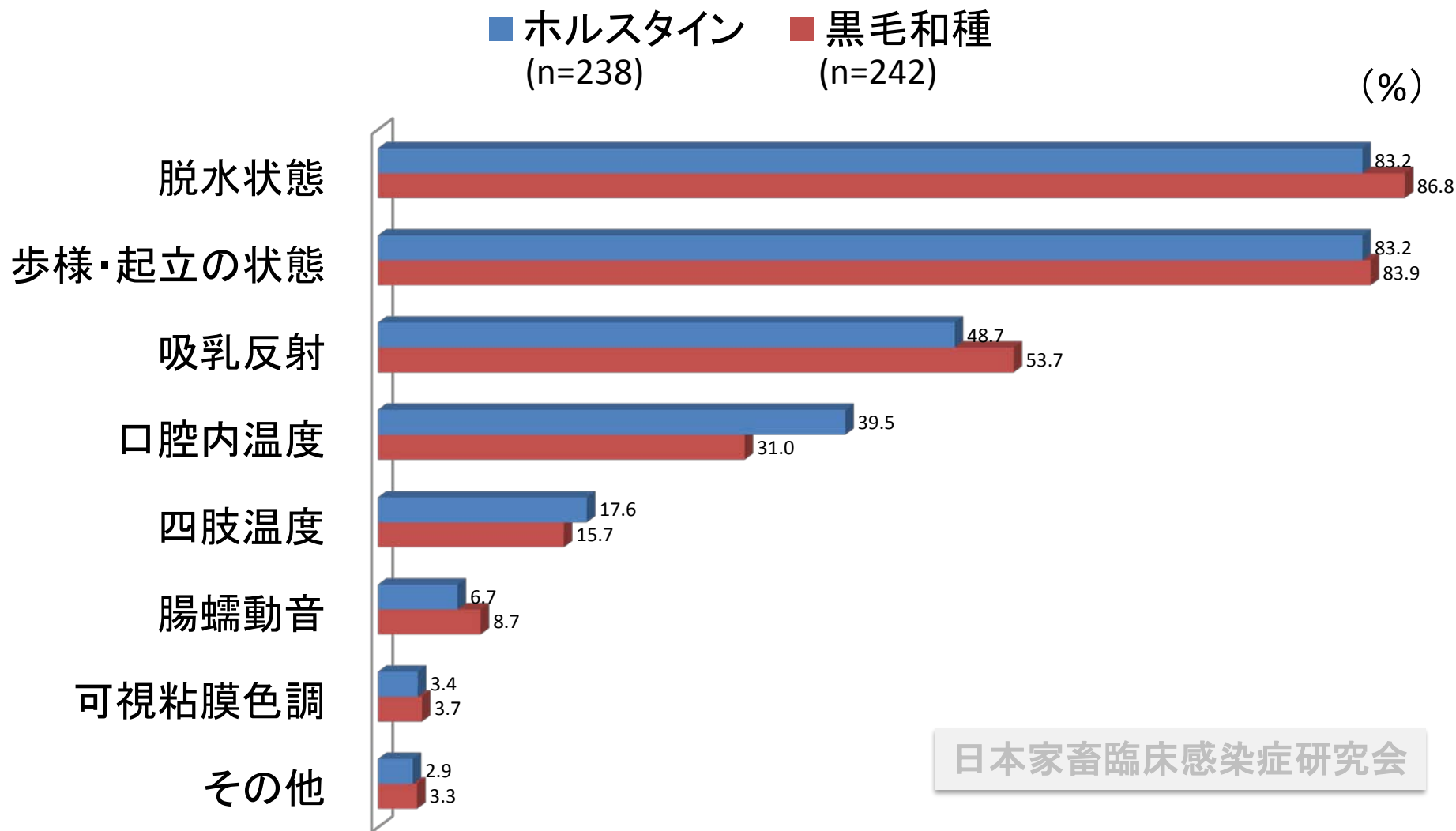
下痢の発症要因の鑑別で目安としているものは何ですか？(3つ選択)



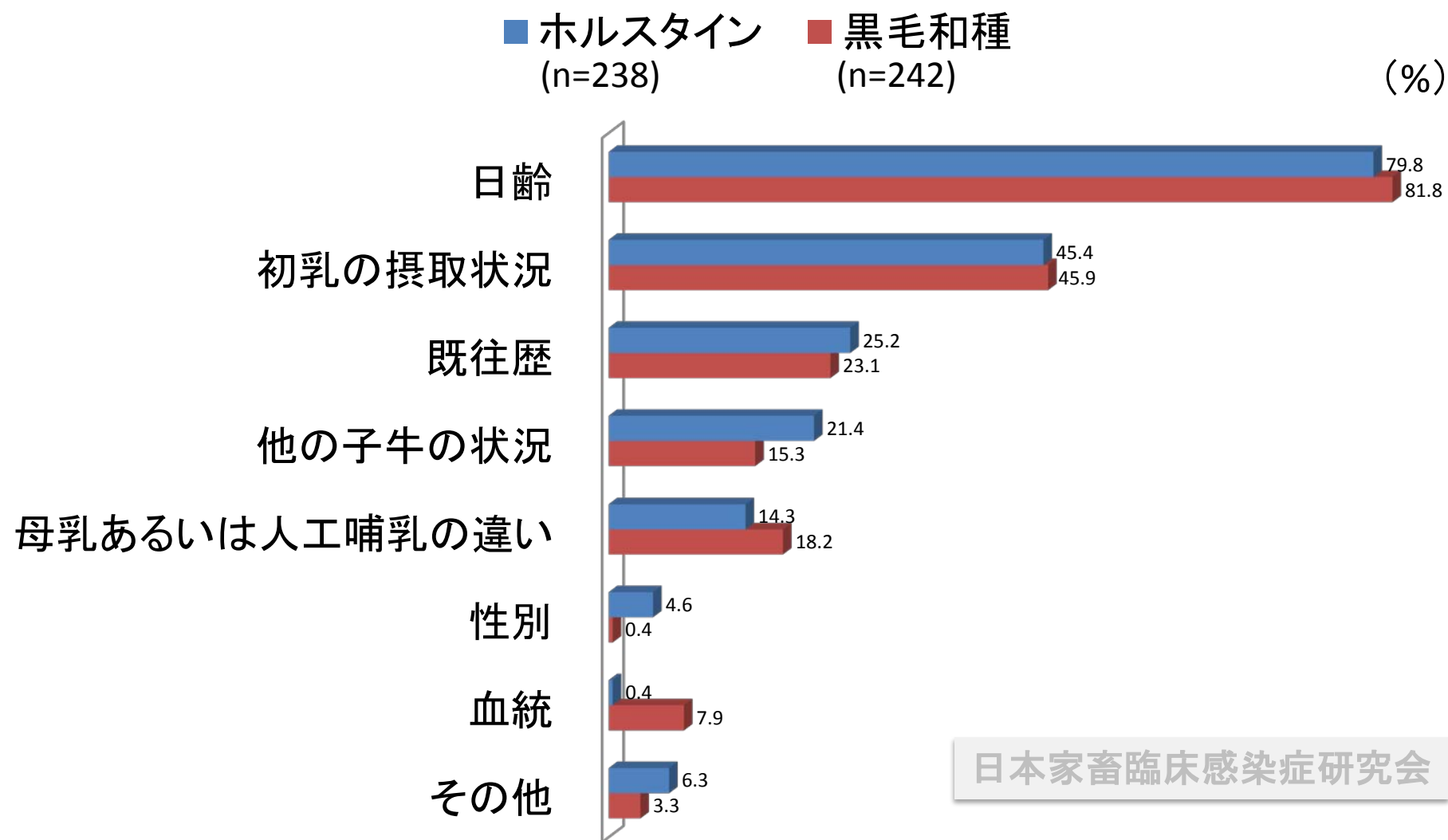
感染性下痢と非感染性下痢の類症鑑別で 目安としているものは何ですか？(3つ選択)



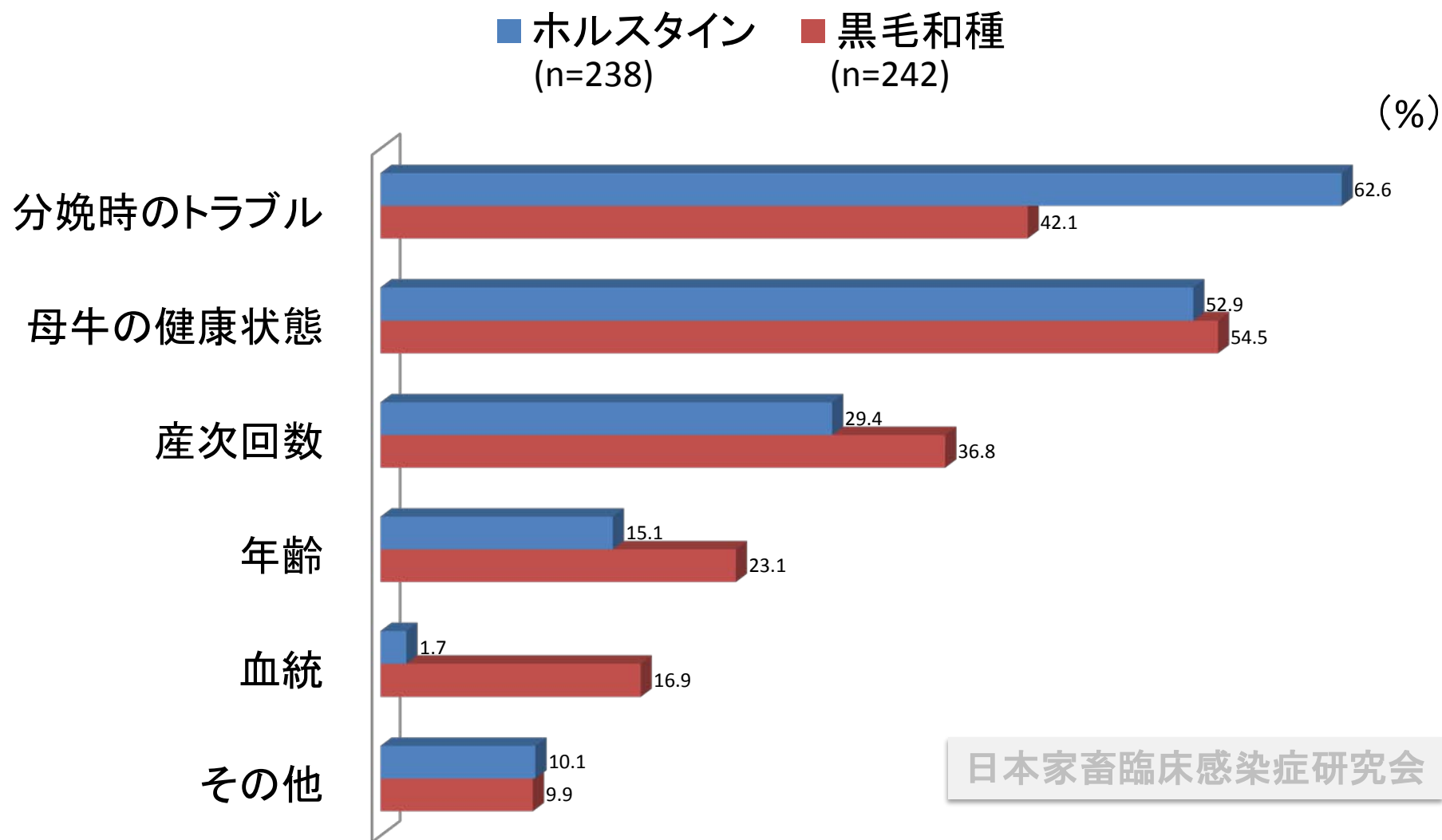
病態把握のための目安としているものは 何ですか？（3つ選択）



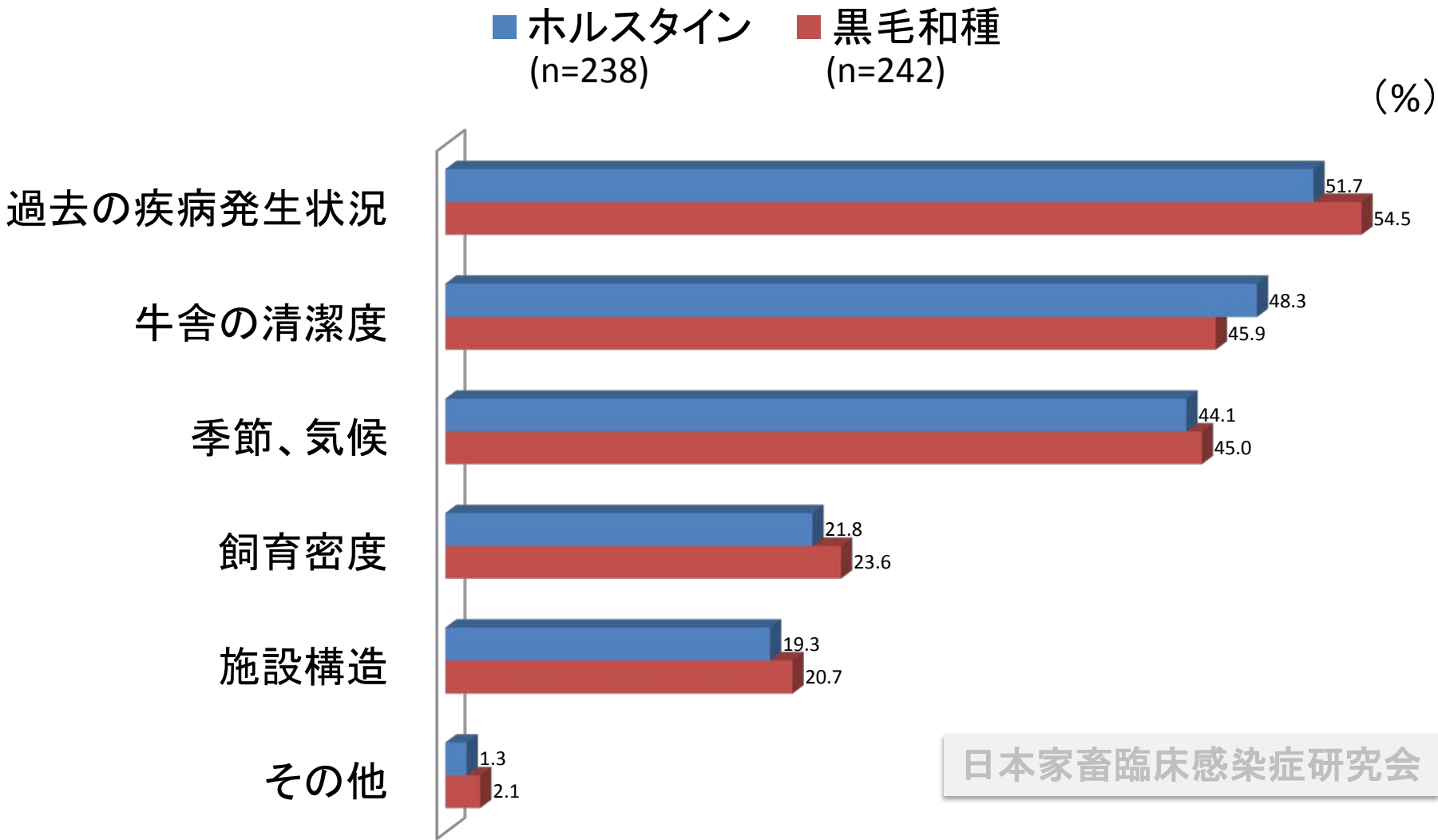
治療法を選択する際に、重視する子牛の
個体情報は何ですか？(2つ選択)



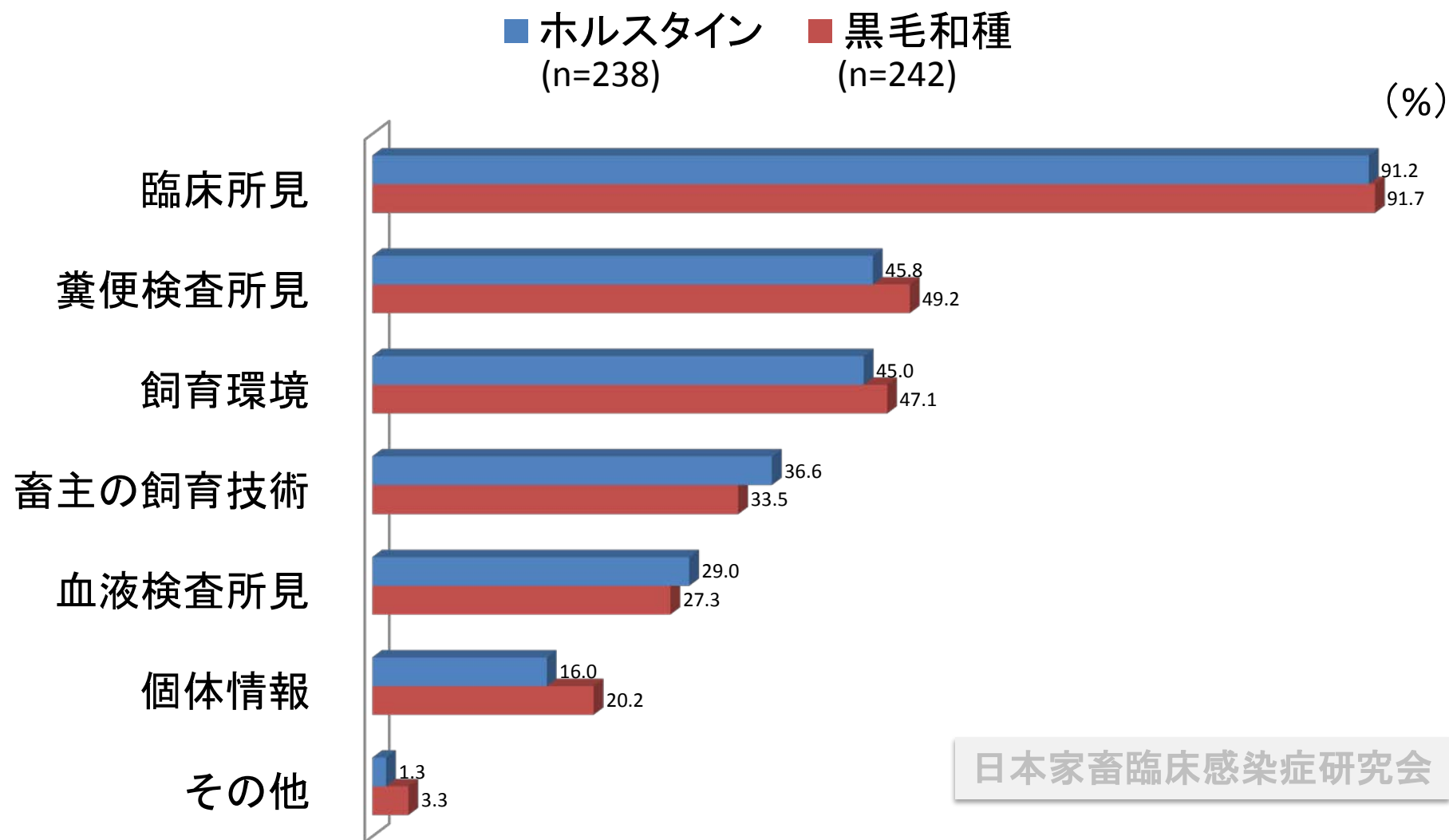
治療法を選択する際に、重視する母牛の 個体情報は何か？(2つ選択)



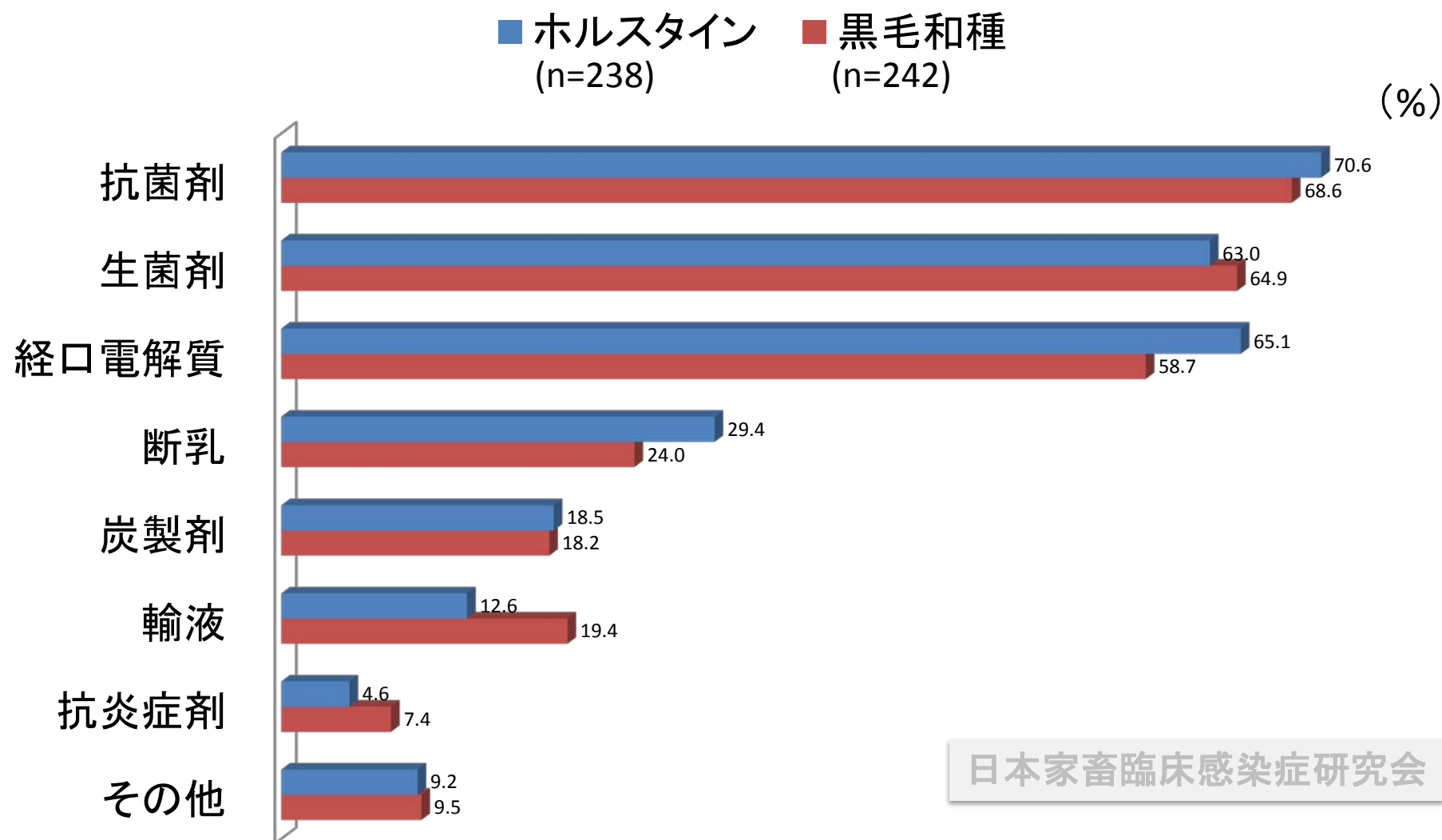
治療法を選択する際に、重視する飼育環境は
何ですか？(2つ選択)



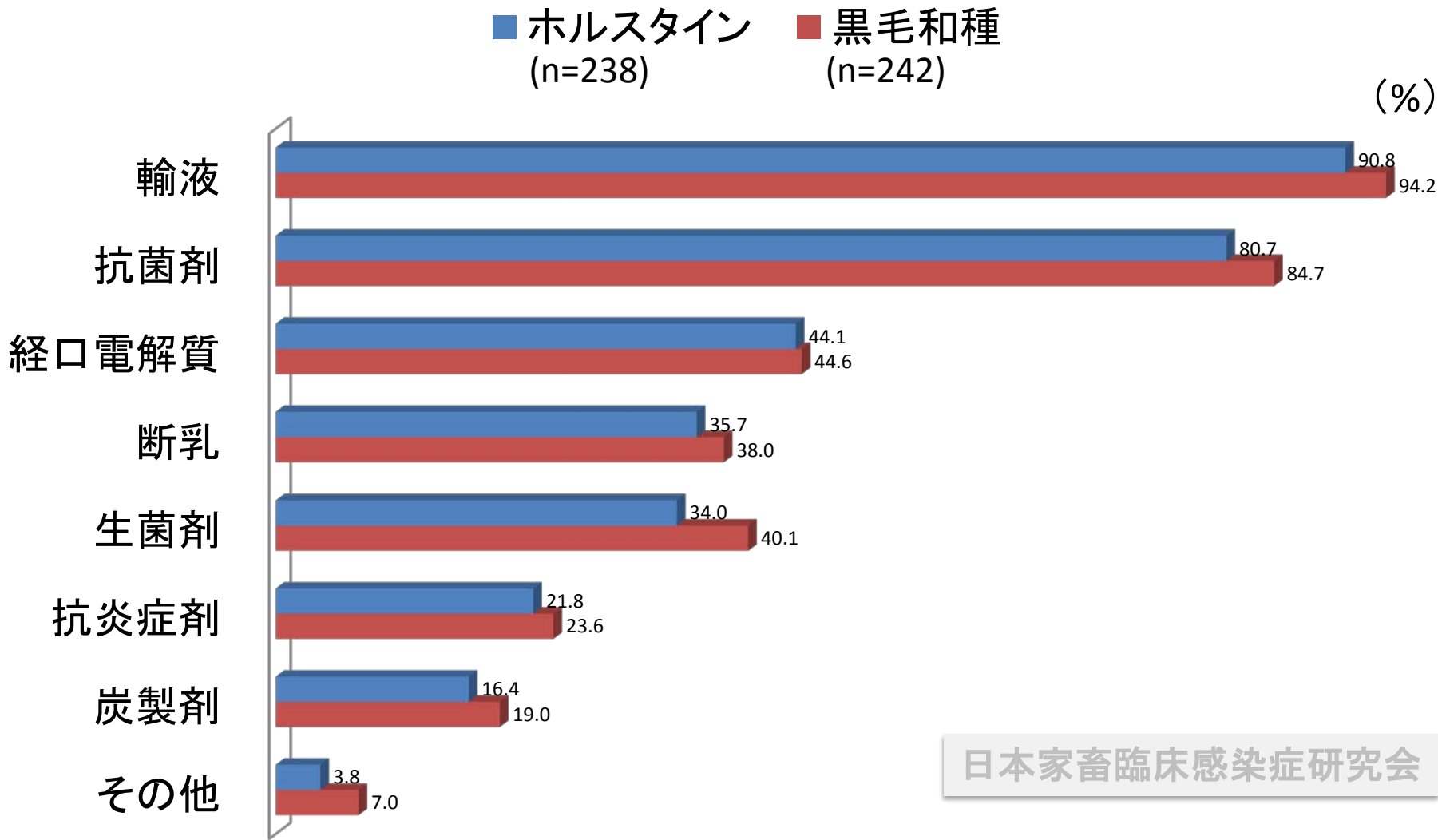
治療法を選択する際に最も重視するものは何ですか？(3つ選択)



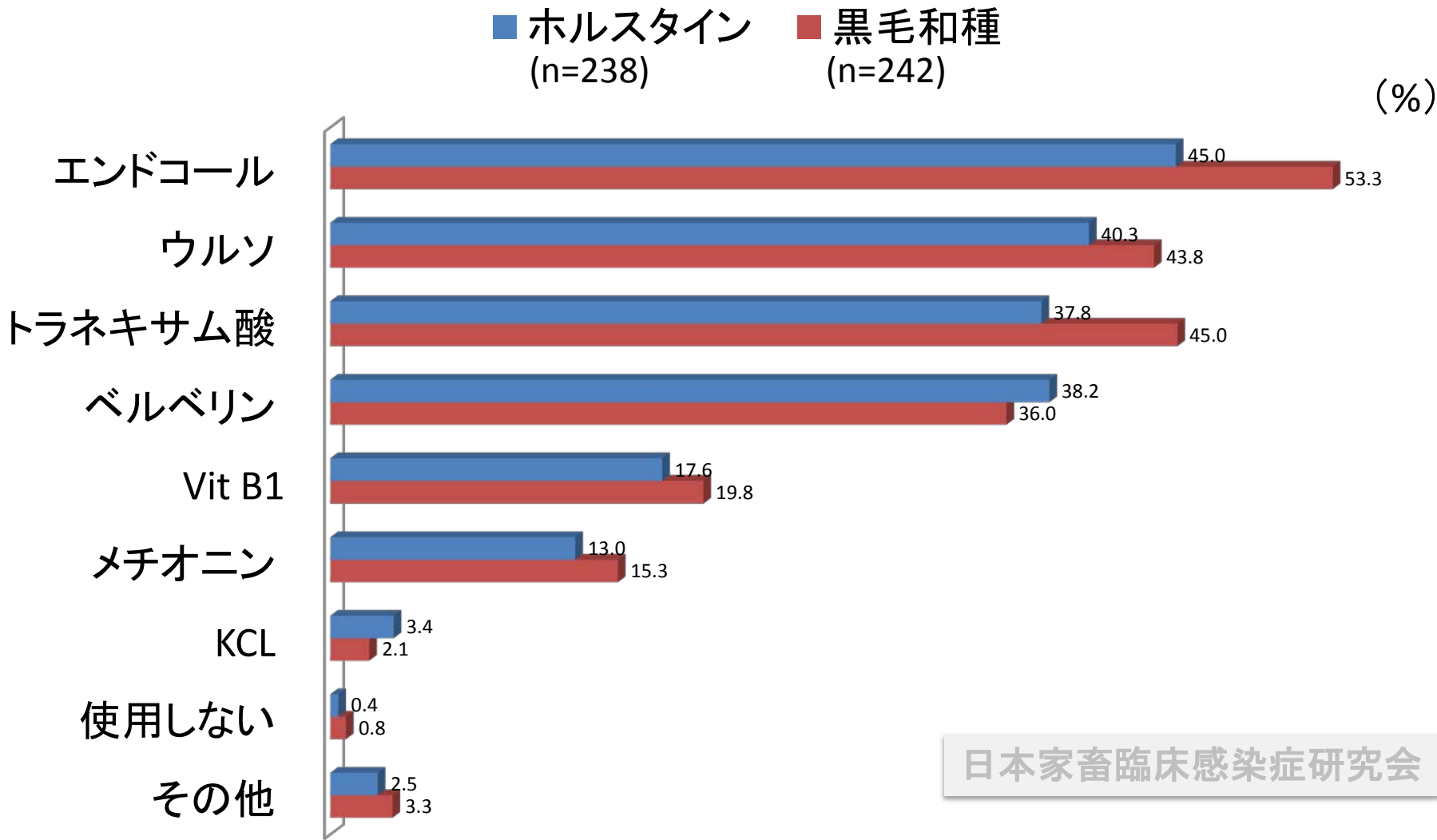
軽症時(軽度脱水、自力哺乳可能な場合)に、
主に行う治療法は何ですか？(複数選択)



重症時(重度脱水、自力哺乳不可能の場合)に、主に行う治療法は何ですか？(複数選択)



上記以外の薬剤で、子牛の下痢に
使用するものは何ですか？(3つ以内選択)



軽症時(軽度脱水、自力哺乳可能の場合)に、 抗菌剤を使用しますか？(1つ選択)

■ 抗菌剤を使用する ■ 抗菌剤を使用しない

(%)

ホルスタイン
(n=238)



70.6

29.4

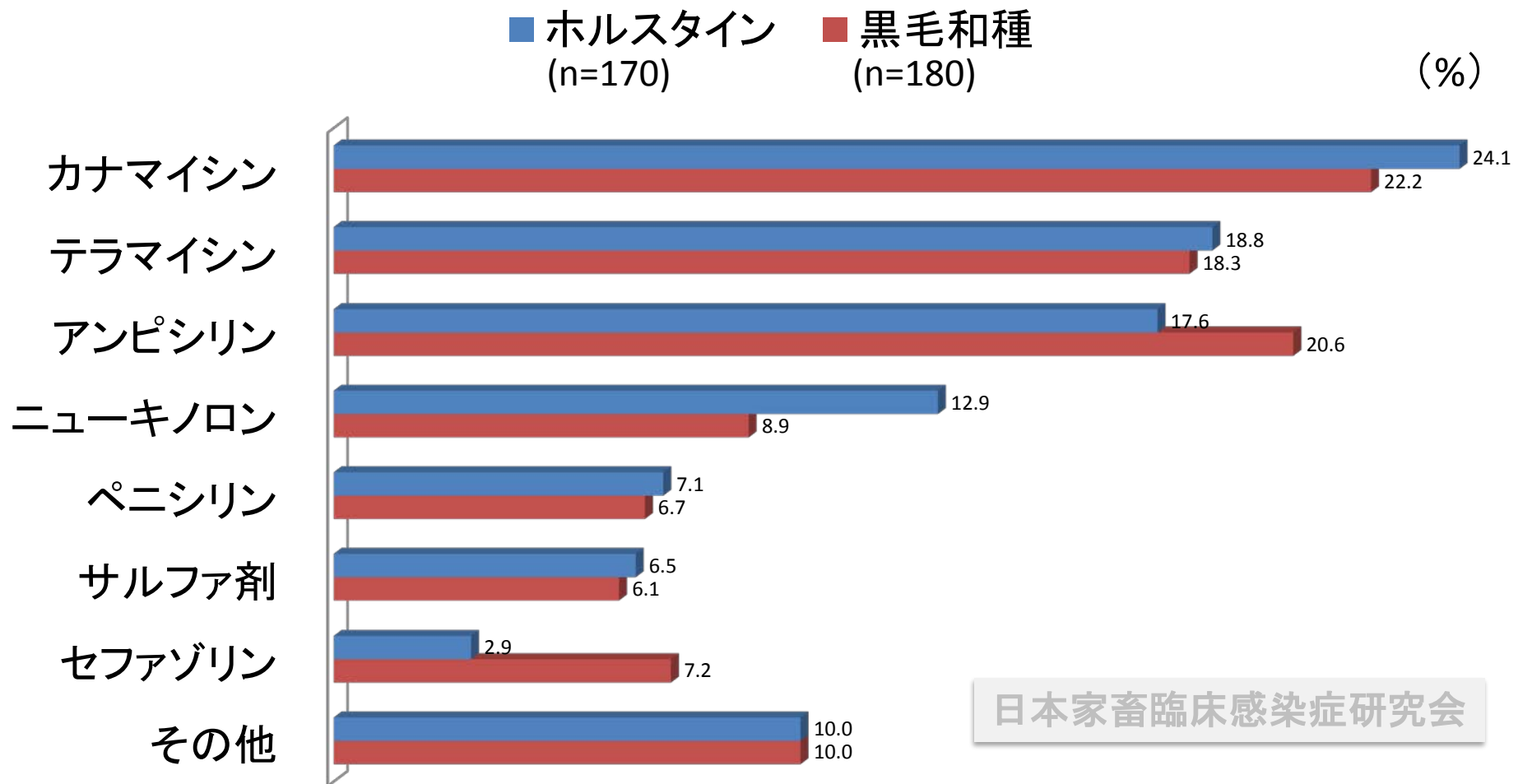
黒毛和種
(n=242)



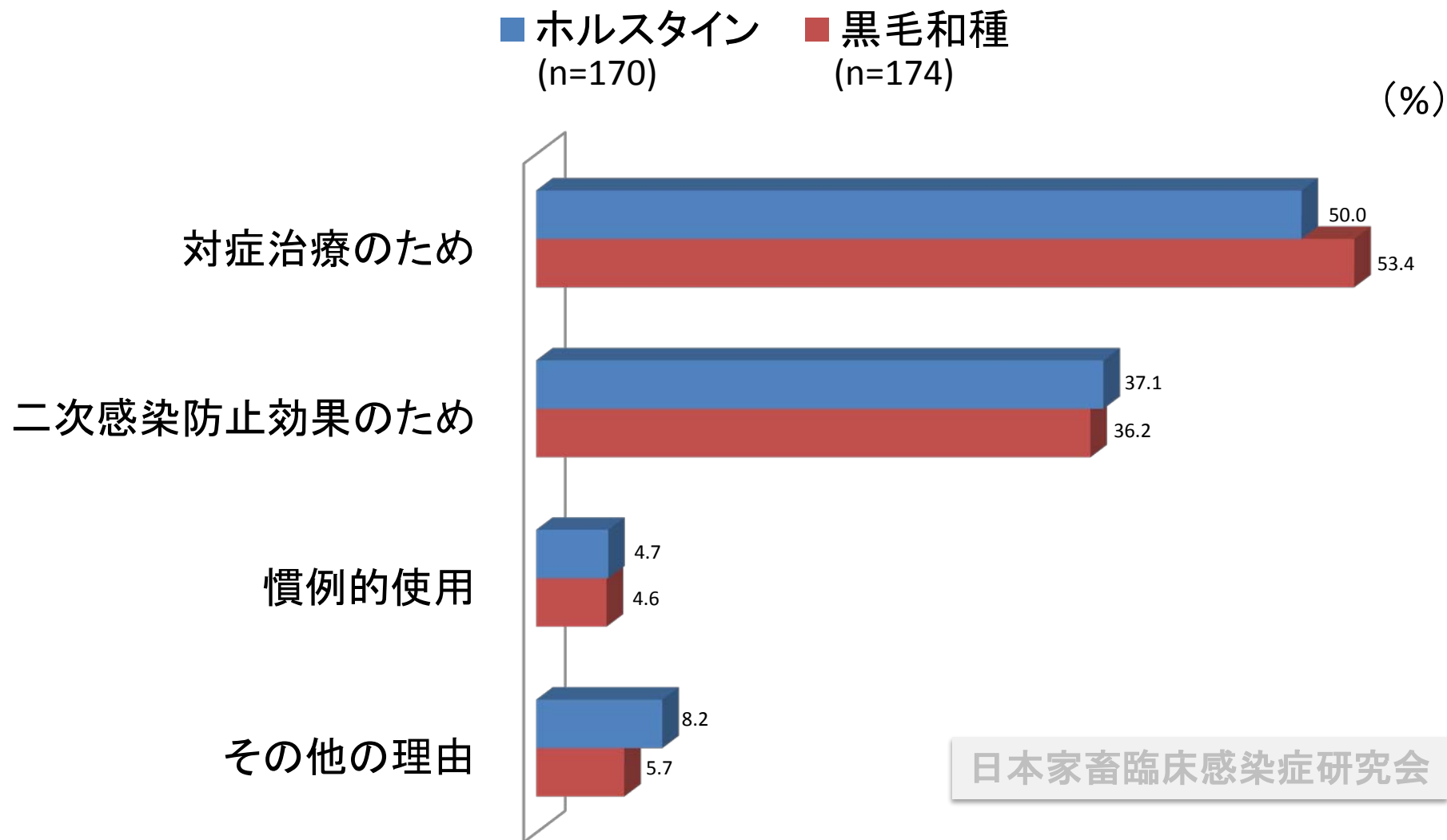
68.6

31.4

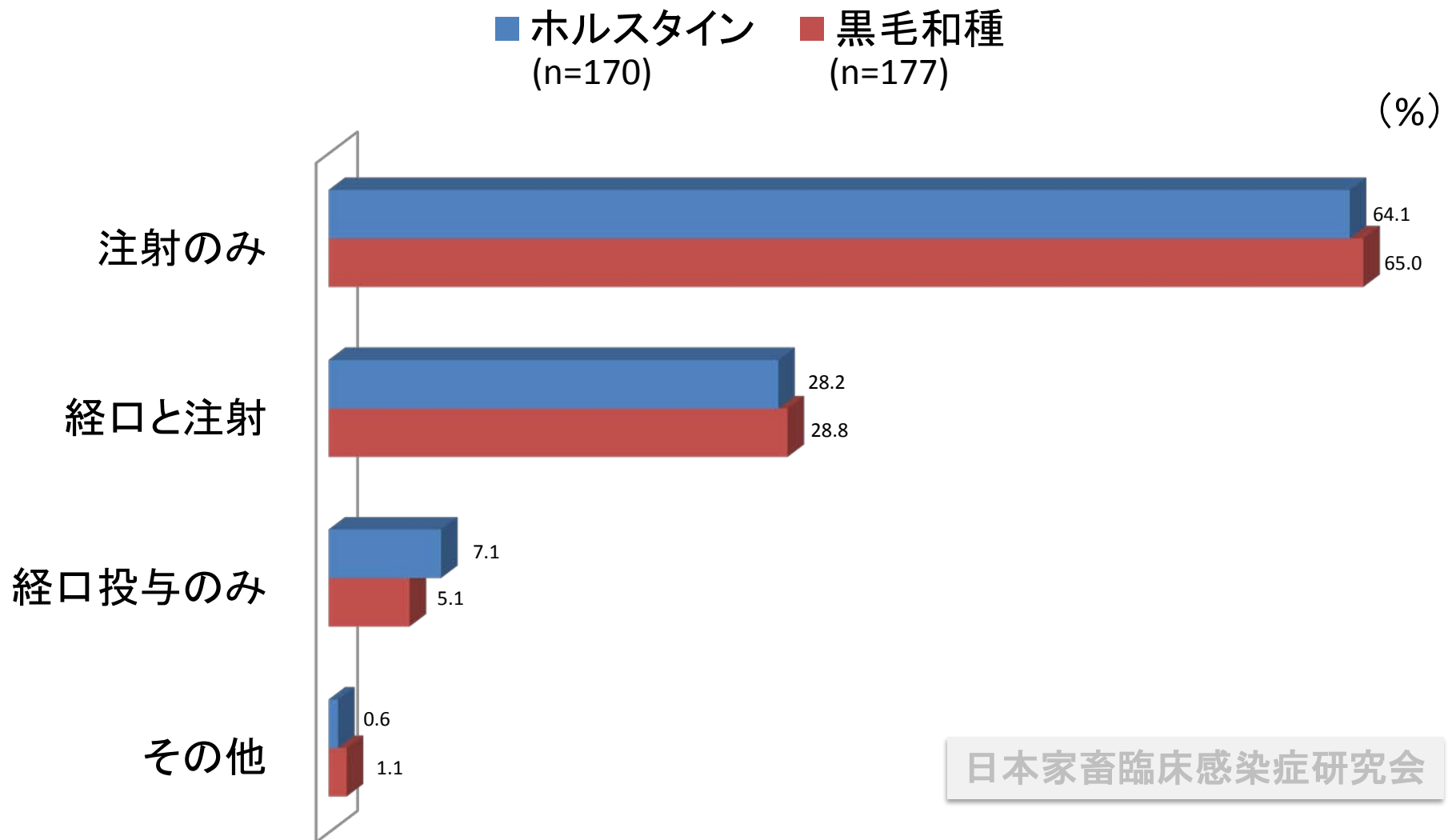
軽症時(軽度脱水、自力哺乳可能の場合)に、
第一次選択薬で最もよく使用する抗菌剤は
何ですか？(1つ選択)



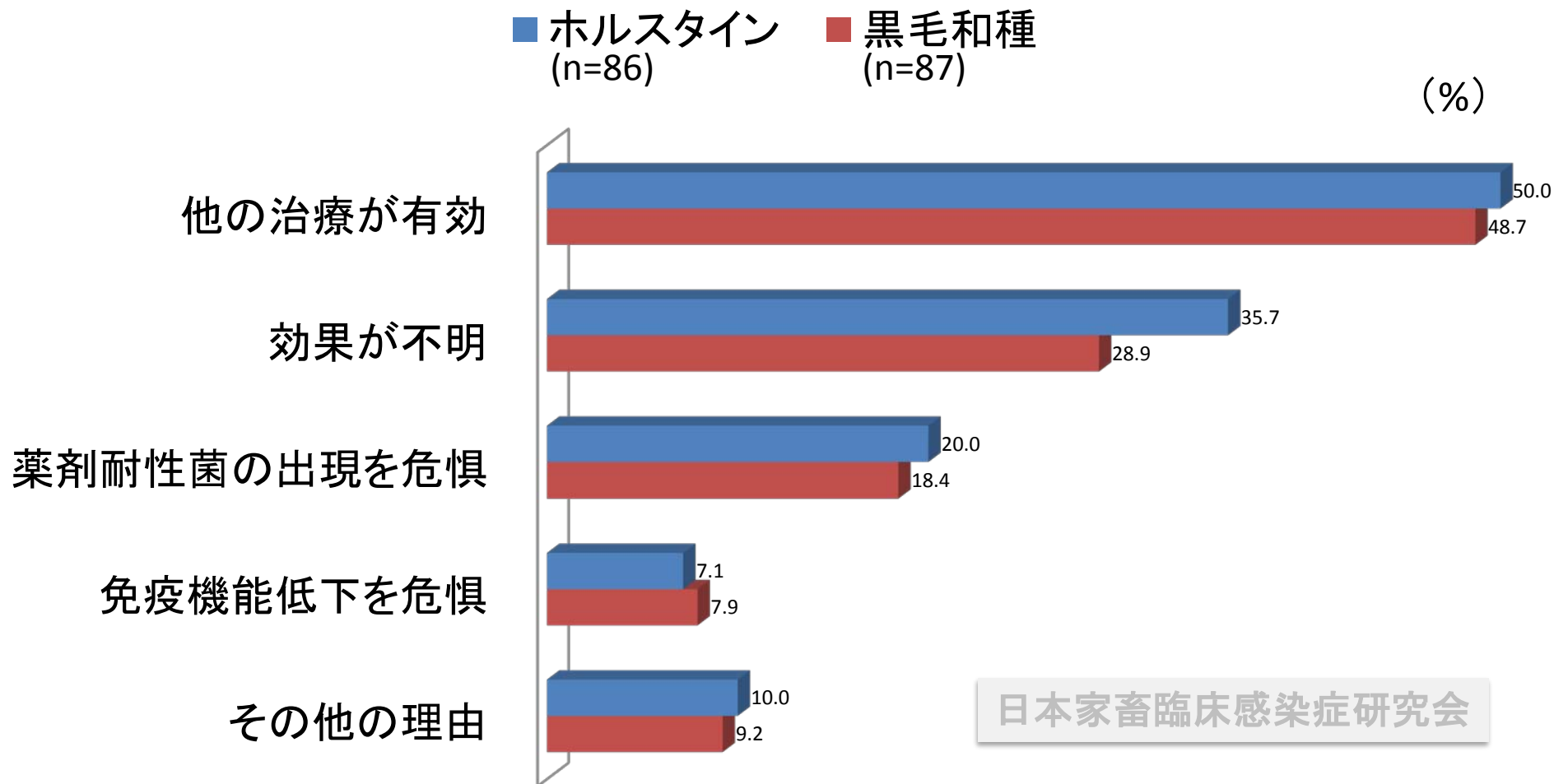
軽症時(軽度脱水、自力哺乳可能の場合)に、 抗菌剤を使用する理由は何ですか？(1つ選択)



軽症時(軽度脱水、自力哺乳可能な場合)に、最もよく行う投与方法は何ですか？(1つ選択)

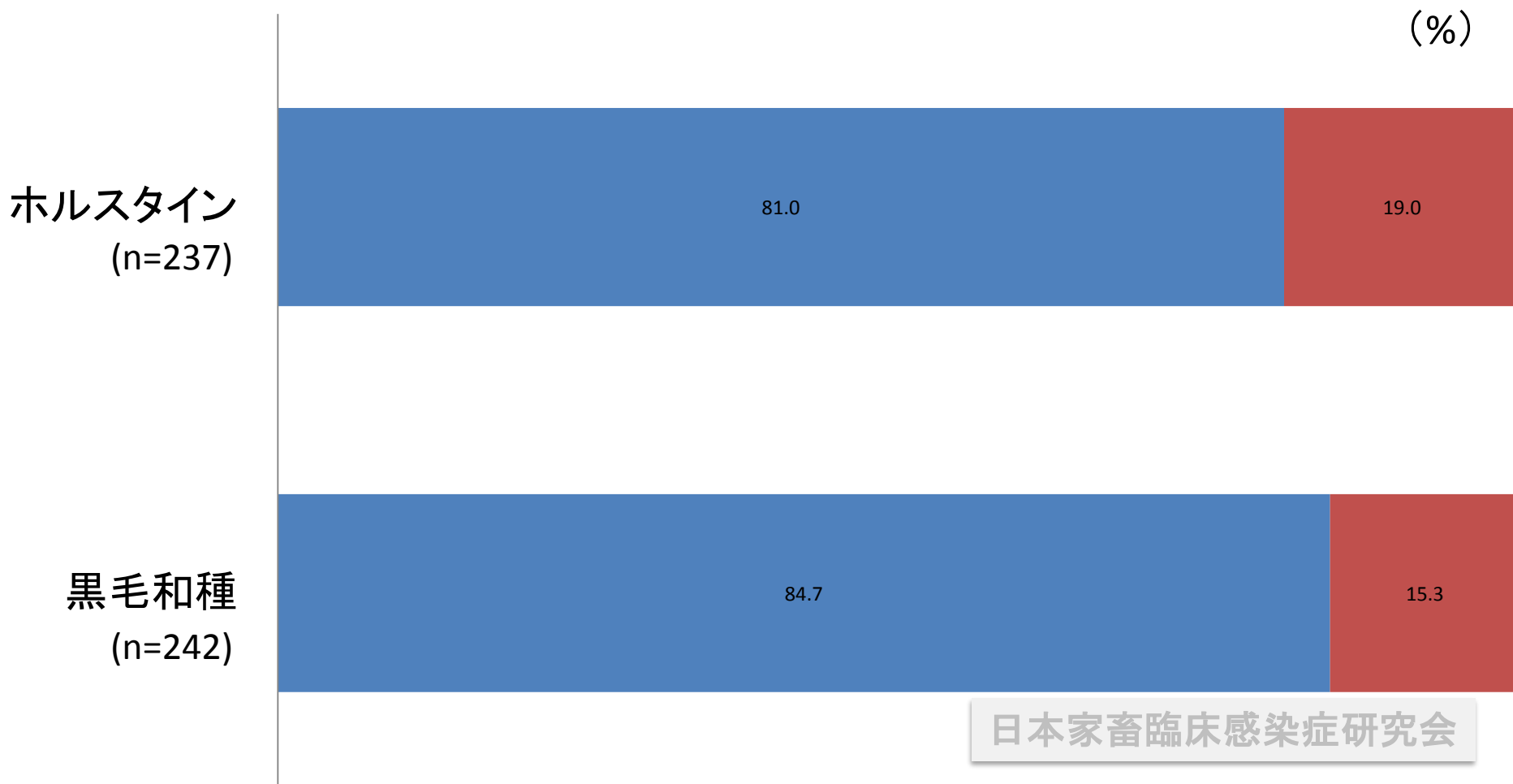


軽症時(軽度脱水、自力哺乳可能の場合)に
「抗菌剤」を選択しなかった方は抗菌剤を
使用しない理由は何ですか？(2つ選択)

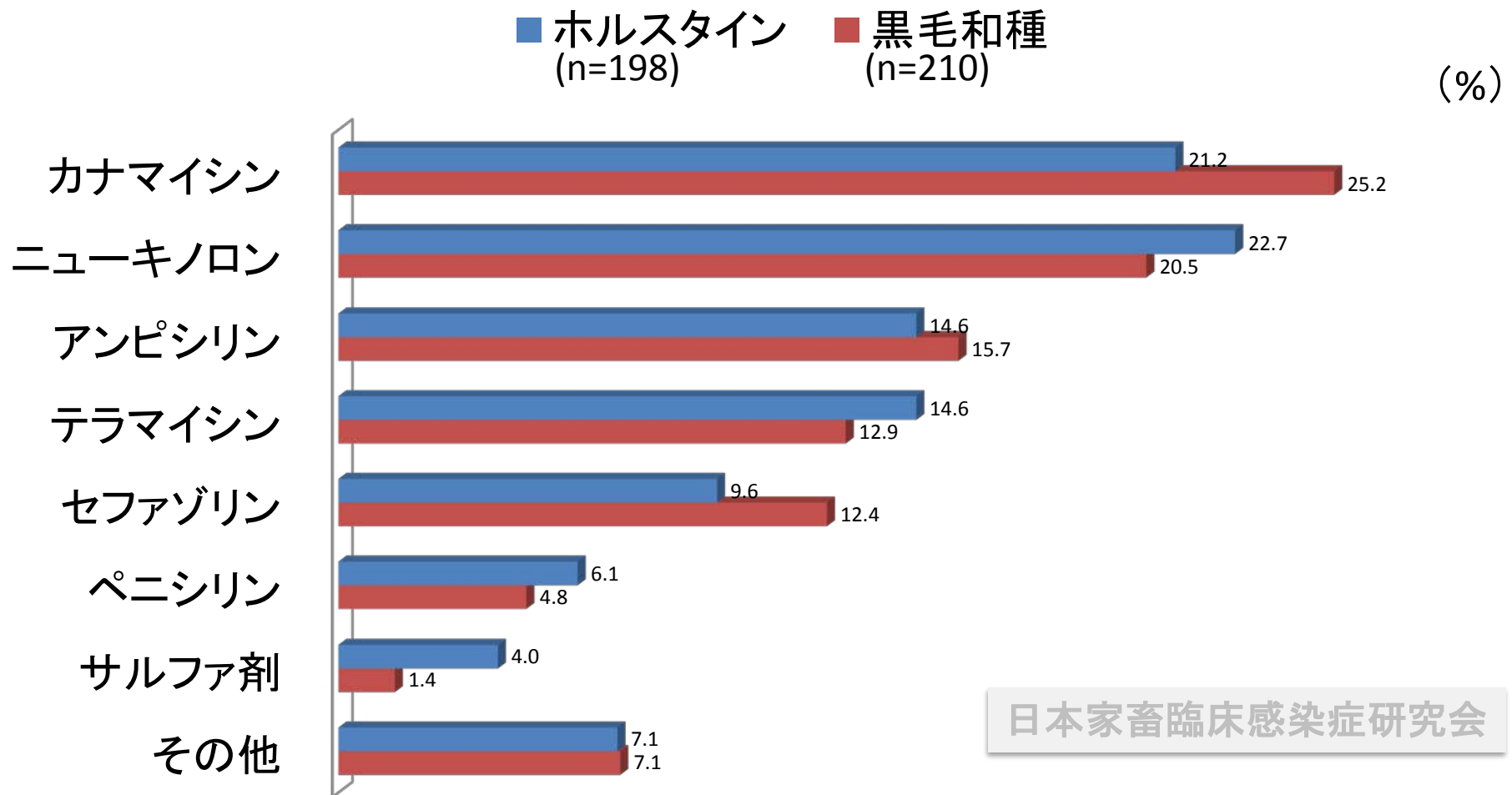


重症例(重度脱水、自力哺乳不可能の場合) に、抗菌剤を使用しますか？(1つ選択)

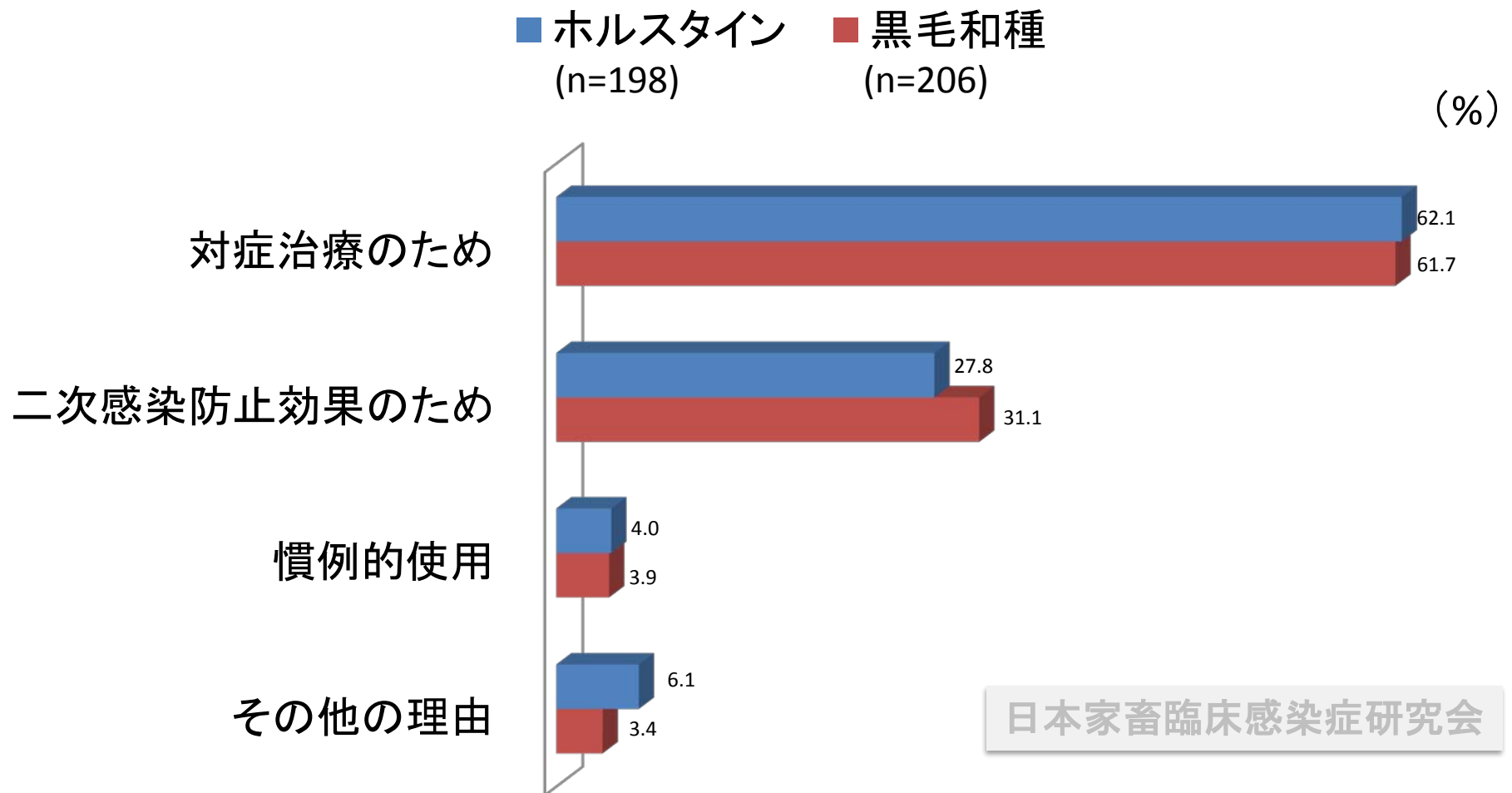
■ 抗菌剤を使用する ■ 抗菌剤を使用しない



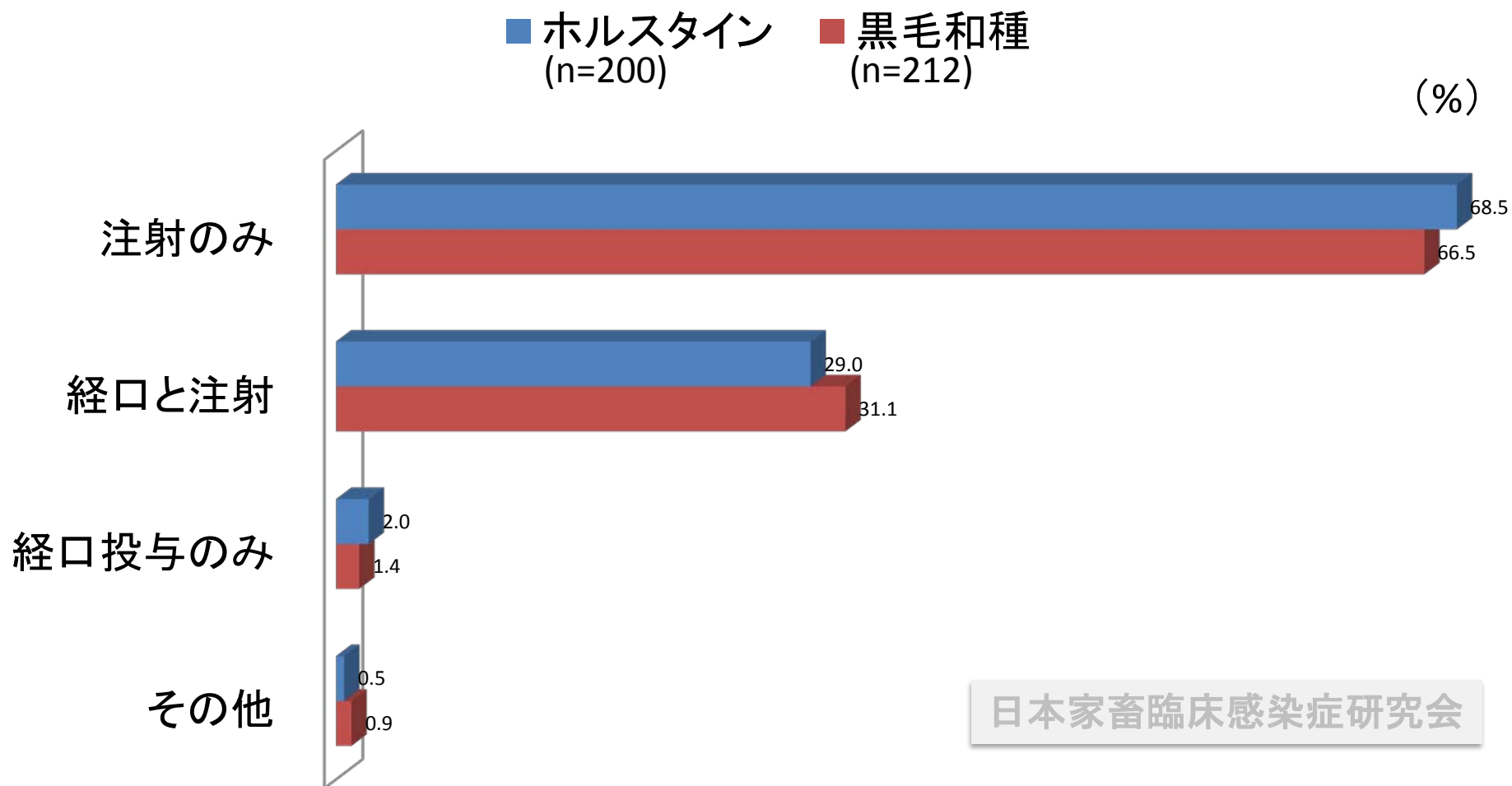
重症例(重度脱水、自力哺乳不可能の場合)
に、第一次選択薬で最もよく使用する抗菌剤は
何ですか？(1つ選択)



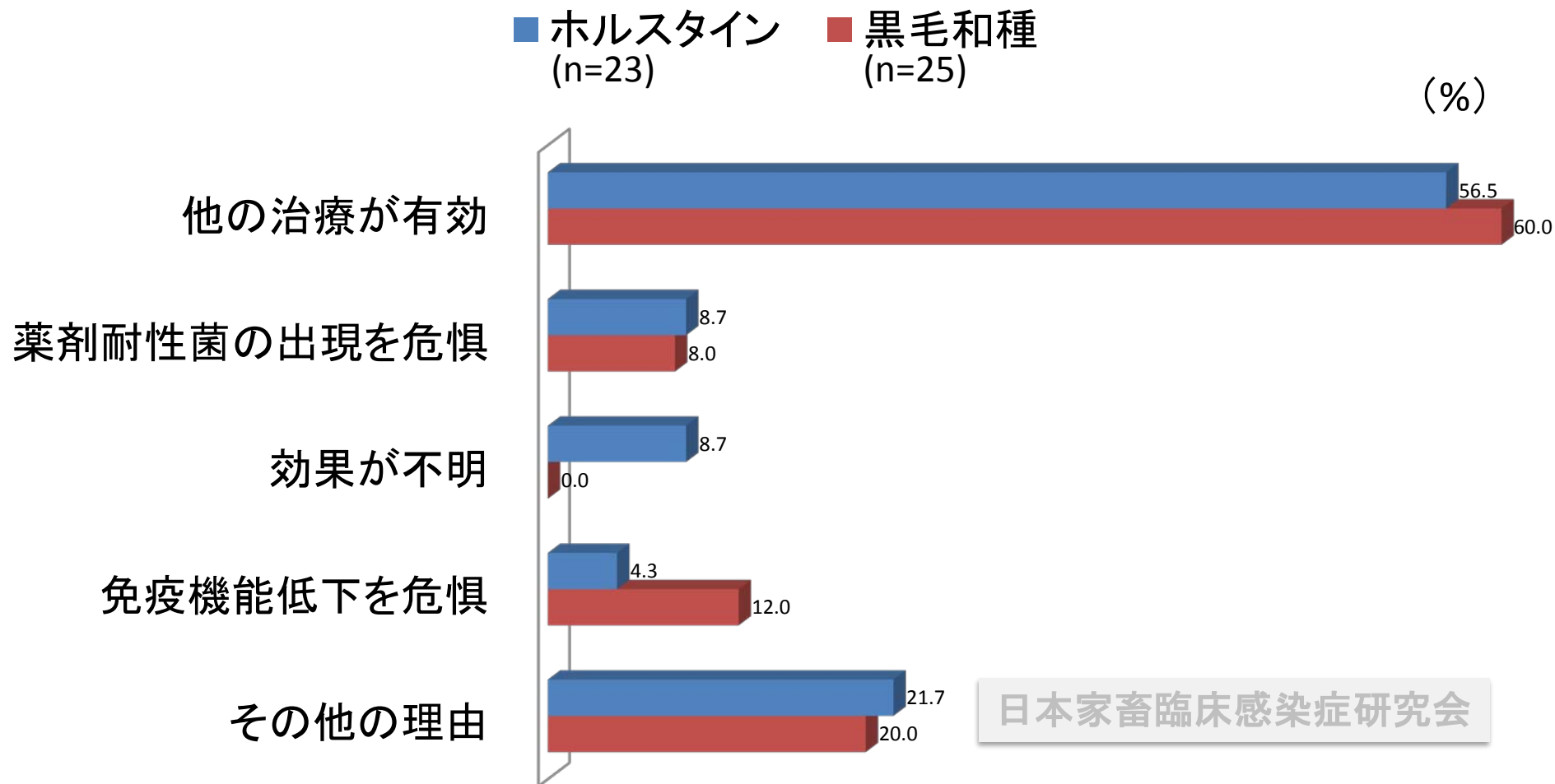
重症例(重度脱水、自力哺乳不可能の場合) に、抗菌剤を使用する理由は何ですか？ (1つ選択)



重症例(重度脱水、自力哺乳不可能の場合)
に、抗菌剤で最もよく行う投与方法は
何ですか？(1つ選択)

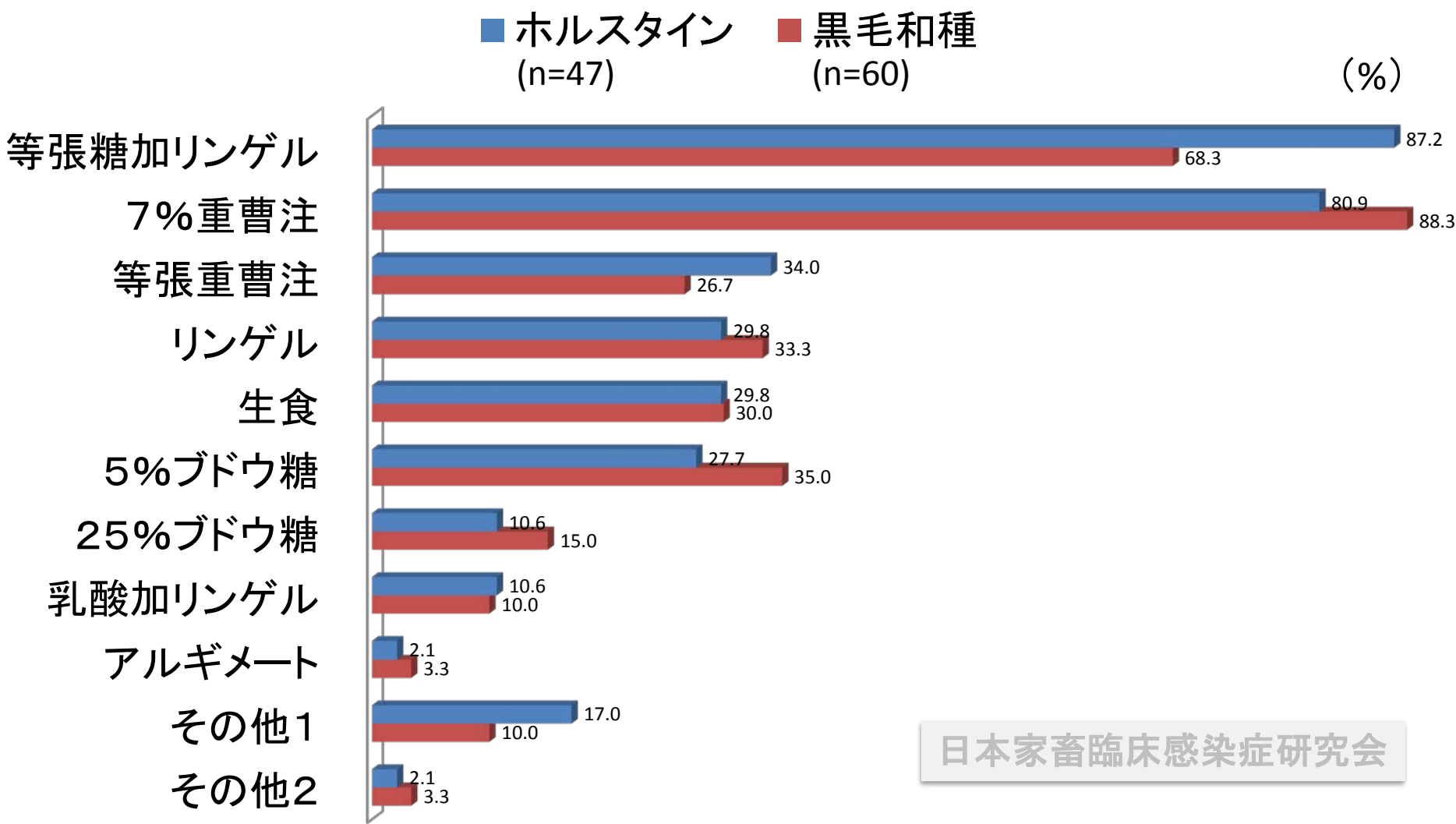


重症例(重度脱水、自力哺乳不可能の場合)
に、「抗菌剤」を選択しなかった方は抗菌剤を
使用しない理由は何ですか？(1つ選択)

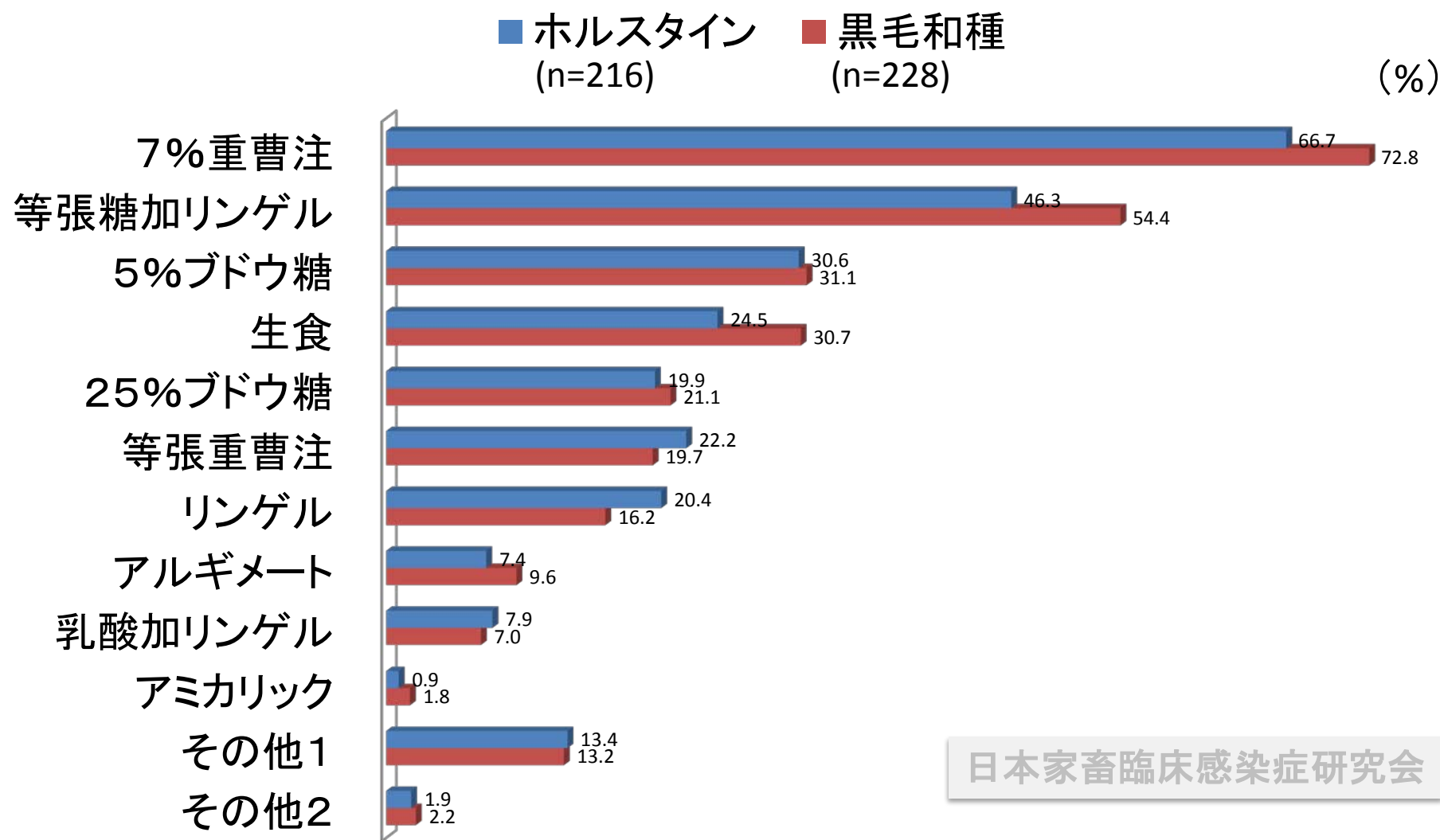


子牛の下痢症の治療について(血管内輸液について)

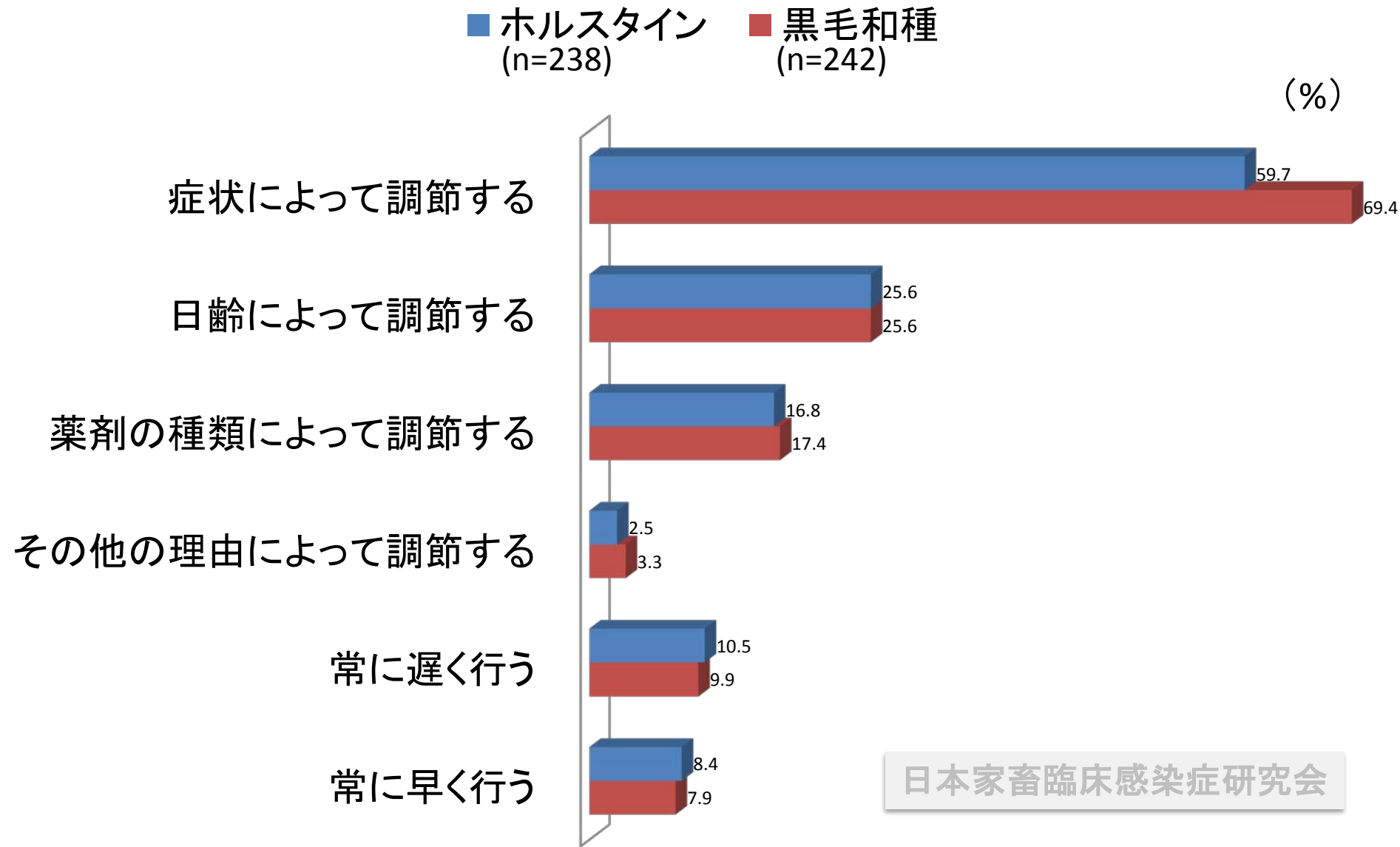
軽症時(軽度脱水、自力哺乳可能の場合)で 使用する輸液組成(複数選択)



重症時(重度脱水、自力哺乳不可能の場合)で
使用する輸液組成(複数選択)



輸液速度の調節について(2つ以内選択)



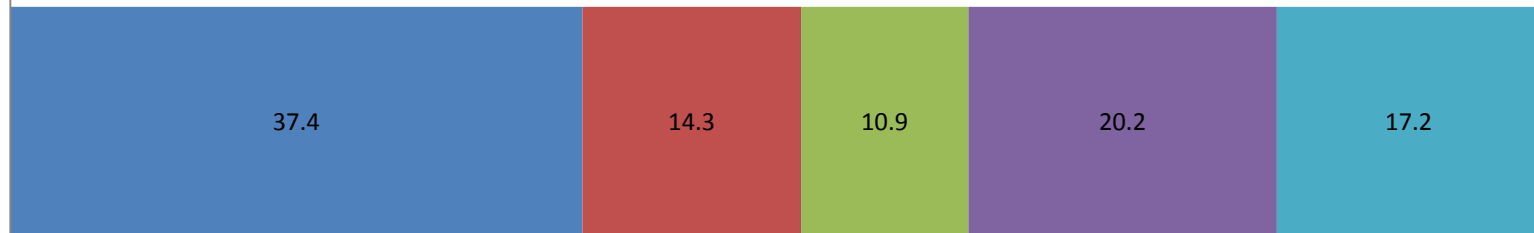
子牛の下痢症の治療について(血管内輸液について)

輸液の際に留置針を使用しますか？(1つ選択)

- 普段から使用する
- ほぼ留置針を使用する
- 時々留置針を使用する
- 使用しない
- (空白回答)

(%)

ホルスタイン
(n=238)

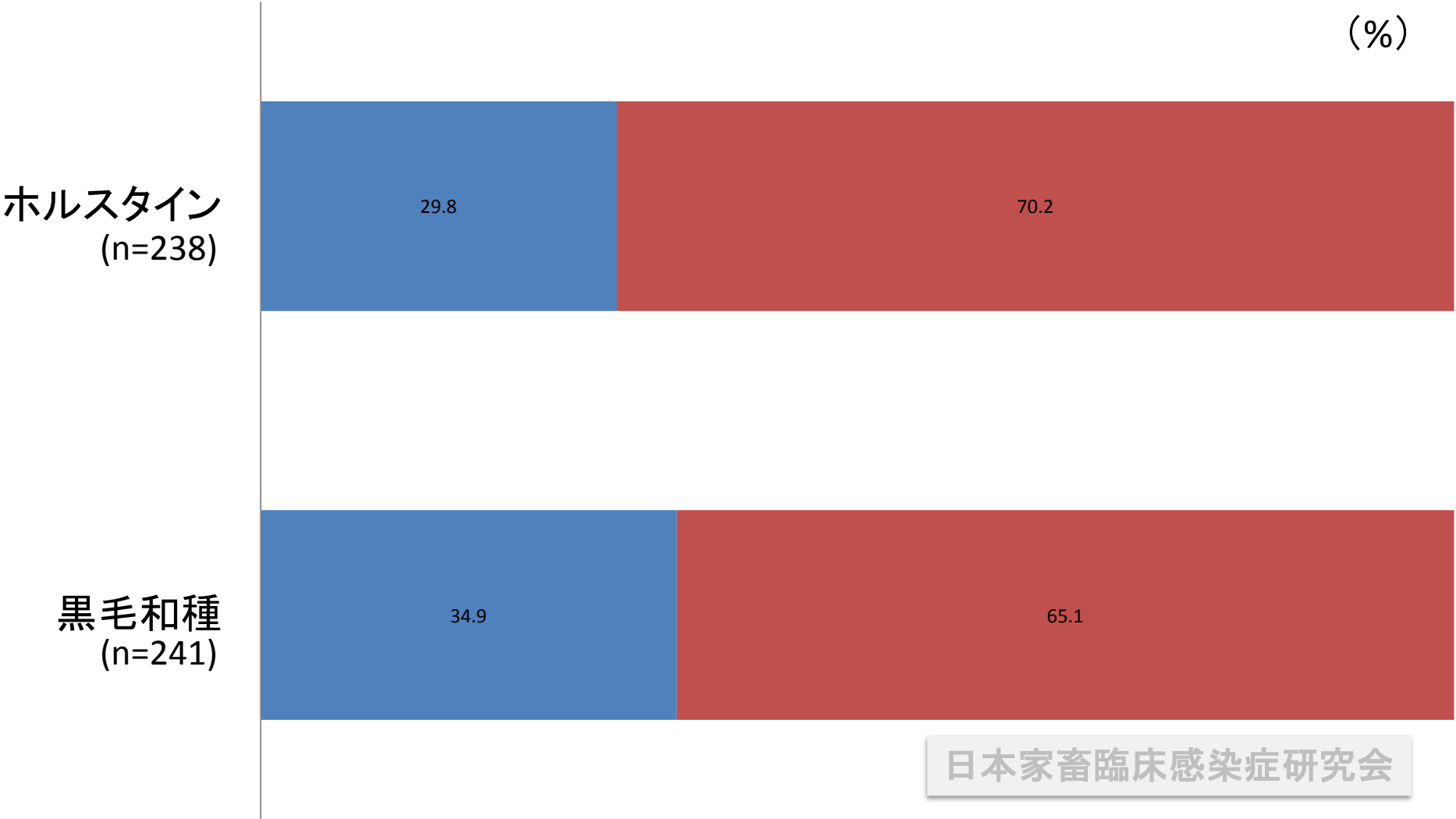


黒毛和種
(n=241)



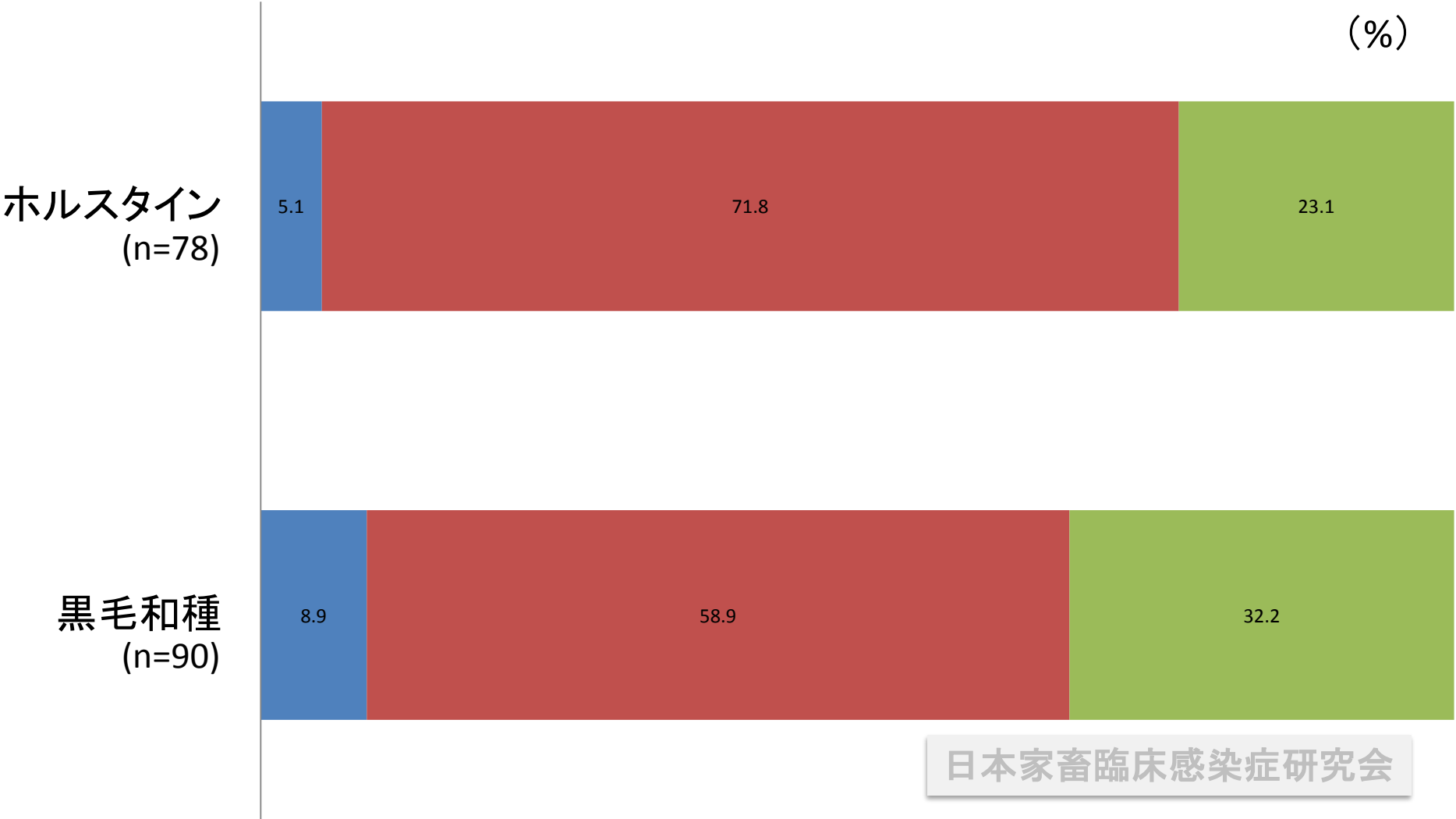
抗炎症剤を使用しますか？(1つ選択)

■ 抗炎症剤を使用する ■ 抗炎症剤を使用しない



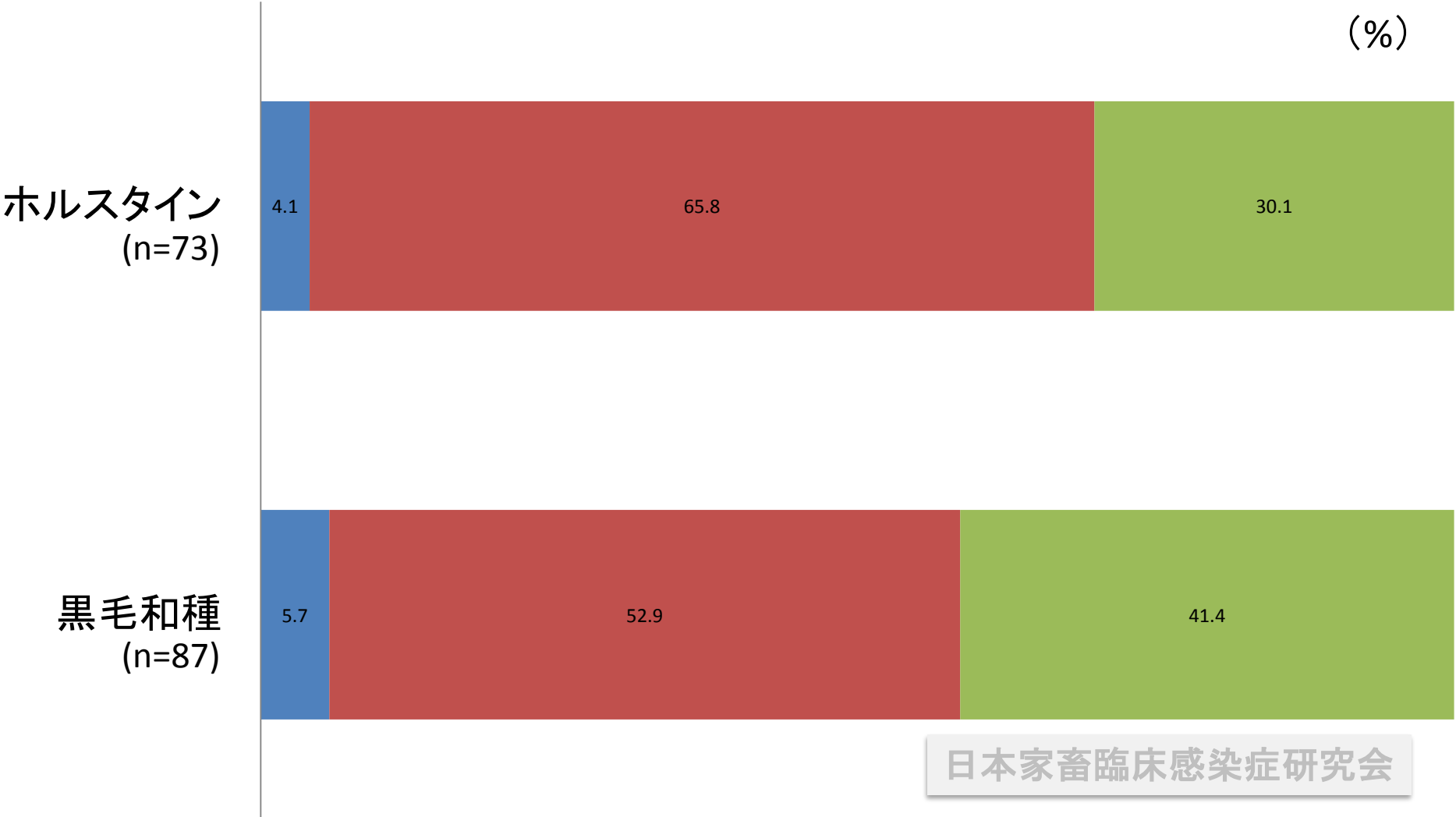
ステロイド製剤を使用しますか？(1つ選択)

■ 普段から使用する ■ 症状によって使用する ■ 使用しない

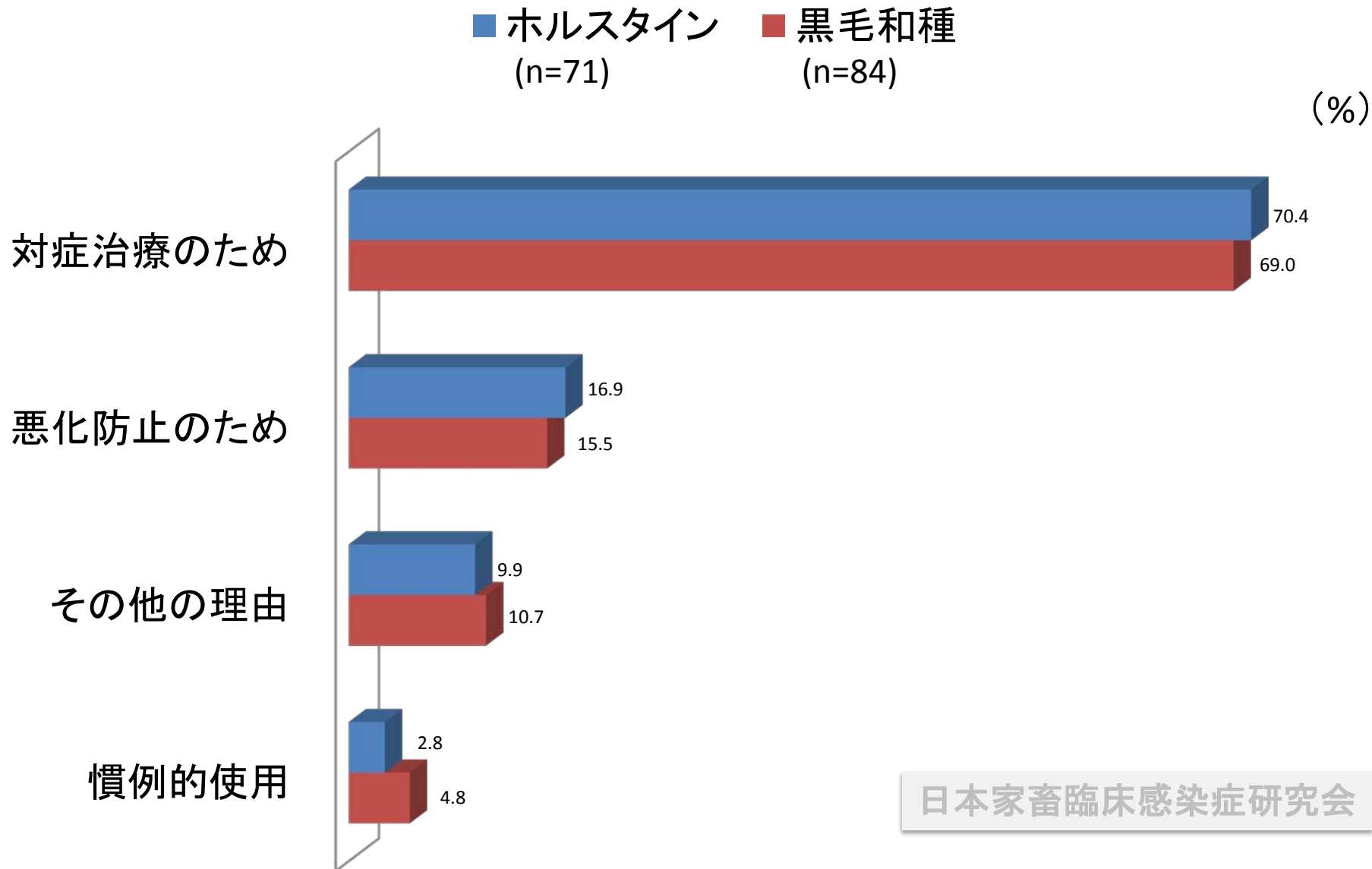


非ステロイド製剤を使用しますか？(1つ選択)

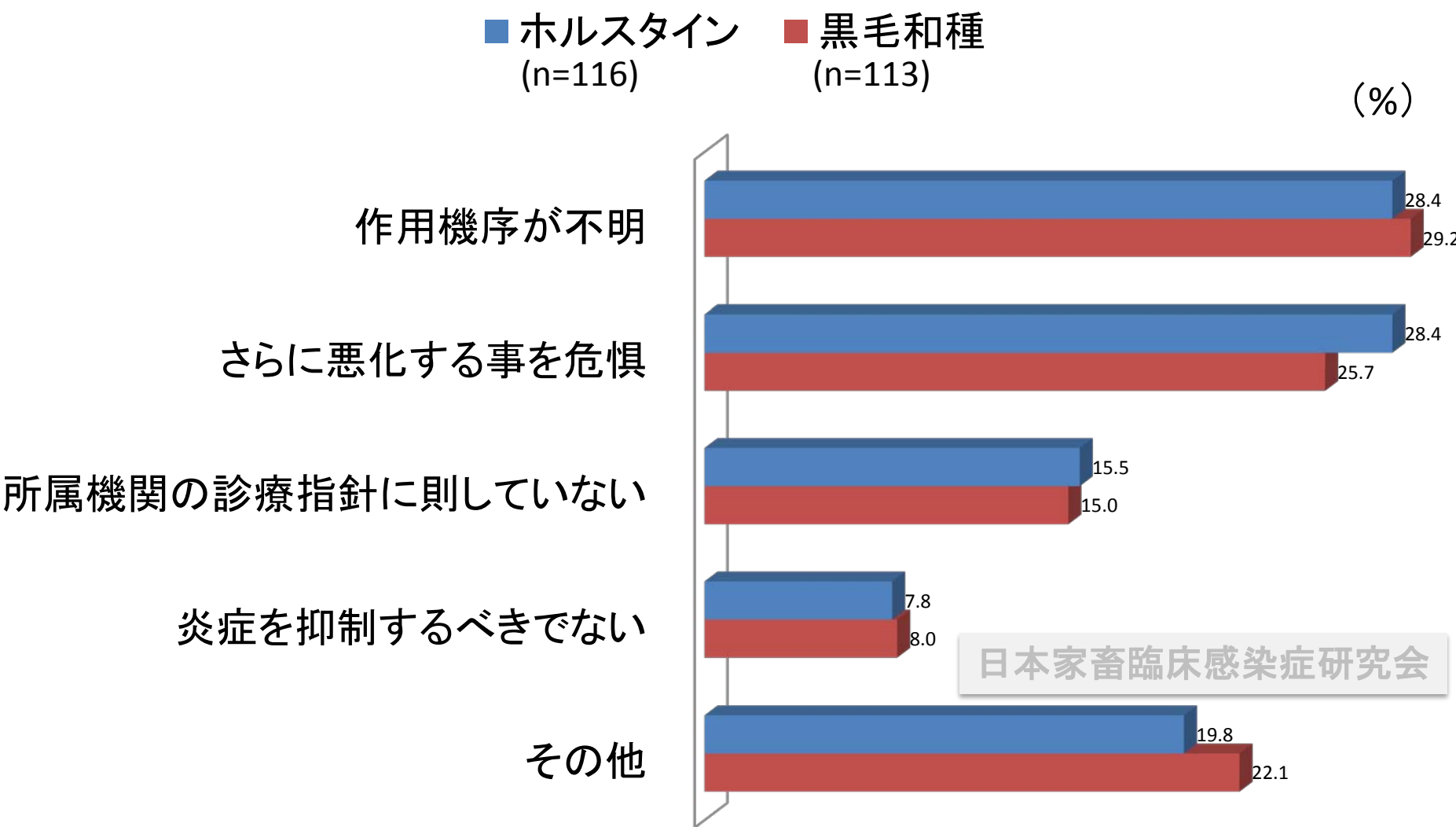
■ 普段から使用する ■ 症状によって使用する ■ 使用しない



抗炎症剤の使用理由は何ですか？(1つ選択)

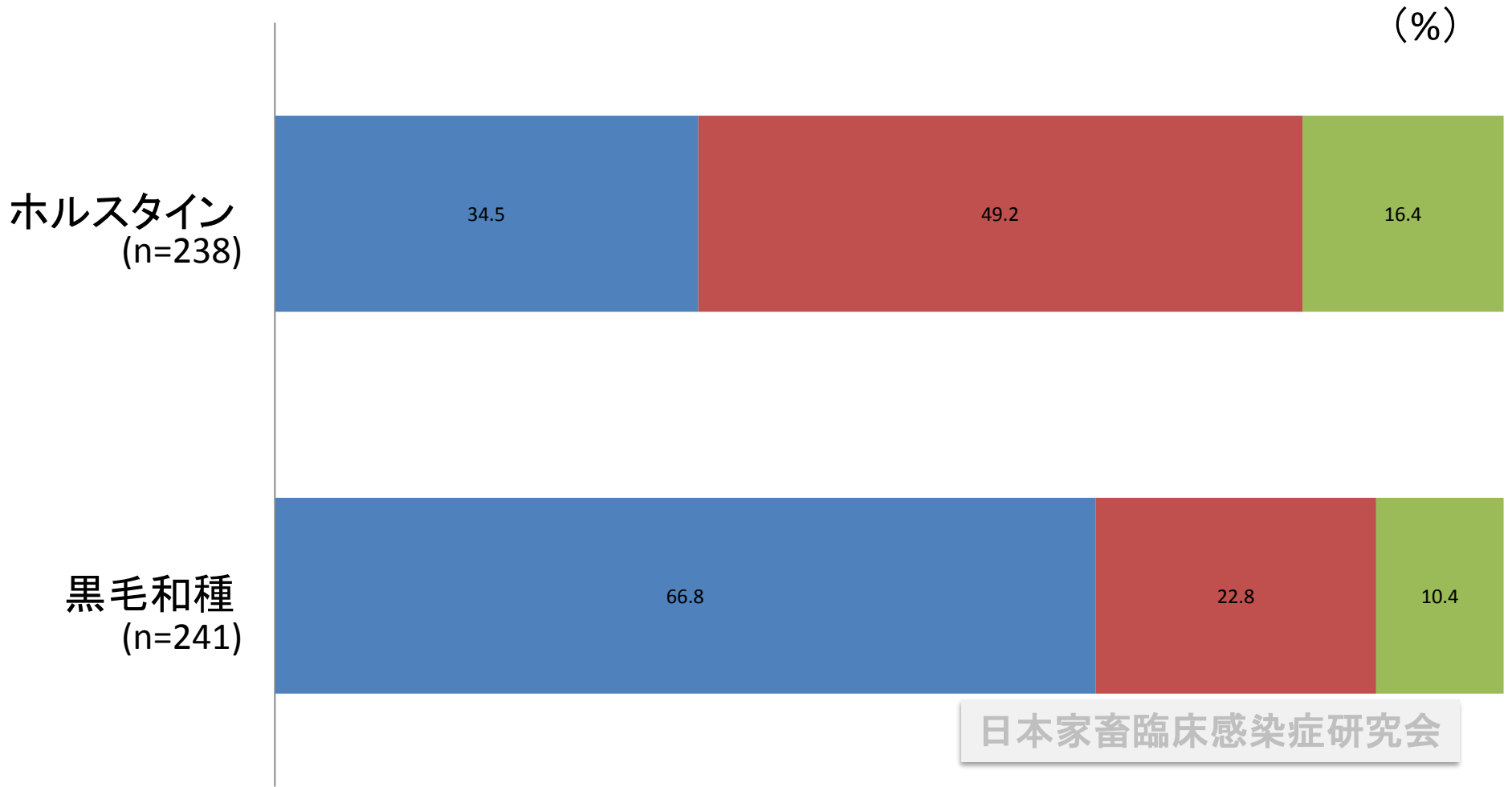


抗炎症剤を治療に使用しない方 は、抗炎症剤を
使用しない理由は何ですか？(1つ選択)



子牛の下痢対策として母牛にワクチン接種を行っていますか？(1つ選択)

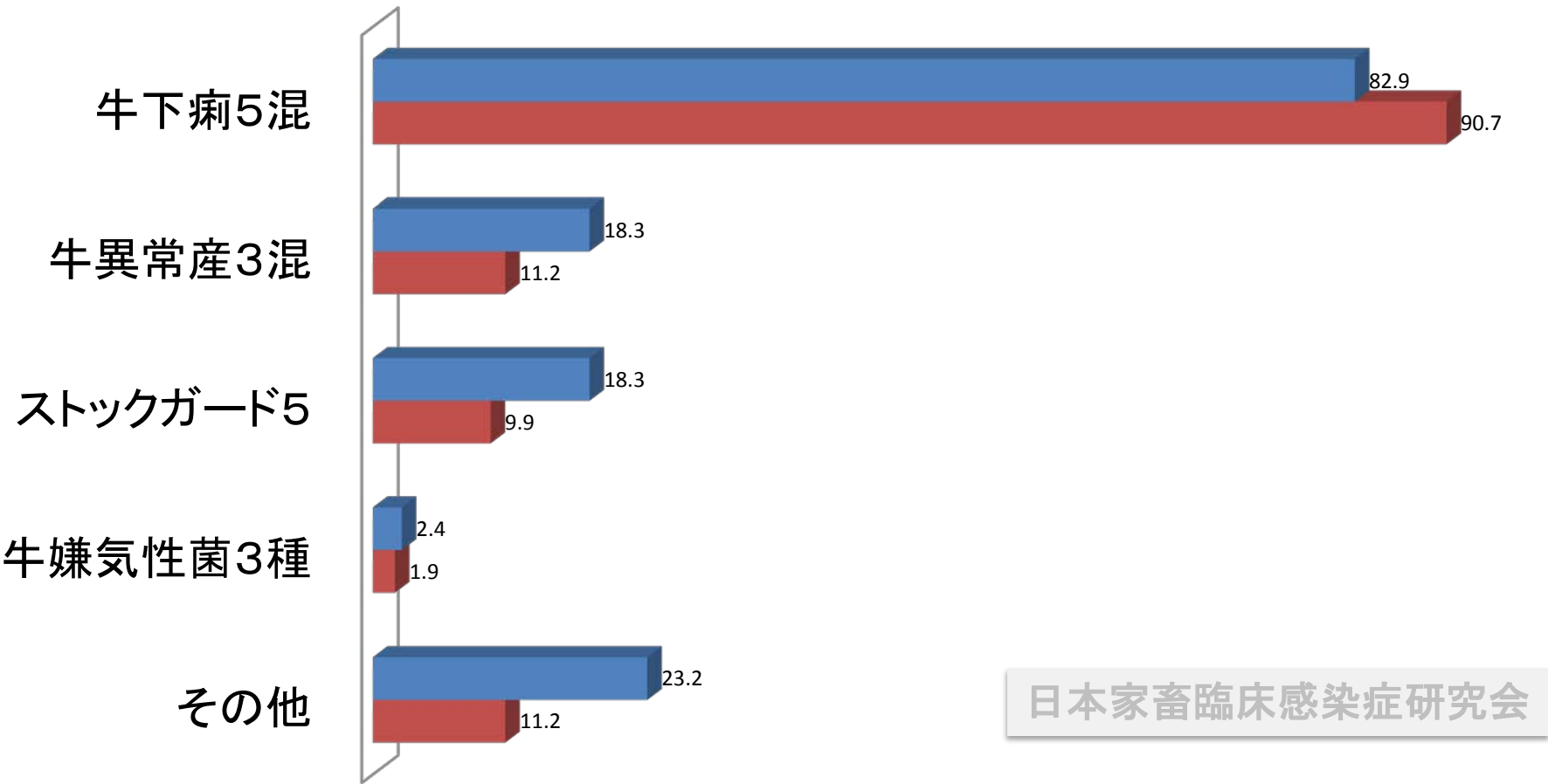
■ 行っている ■ 行っていない ■ (空白回答)



主に使用しているワクチンは以下のうち
どれですか？(1つ選択)

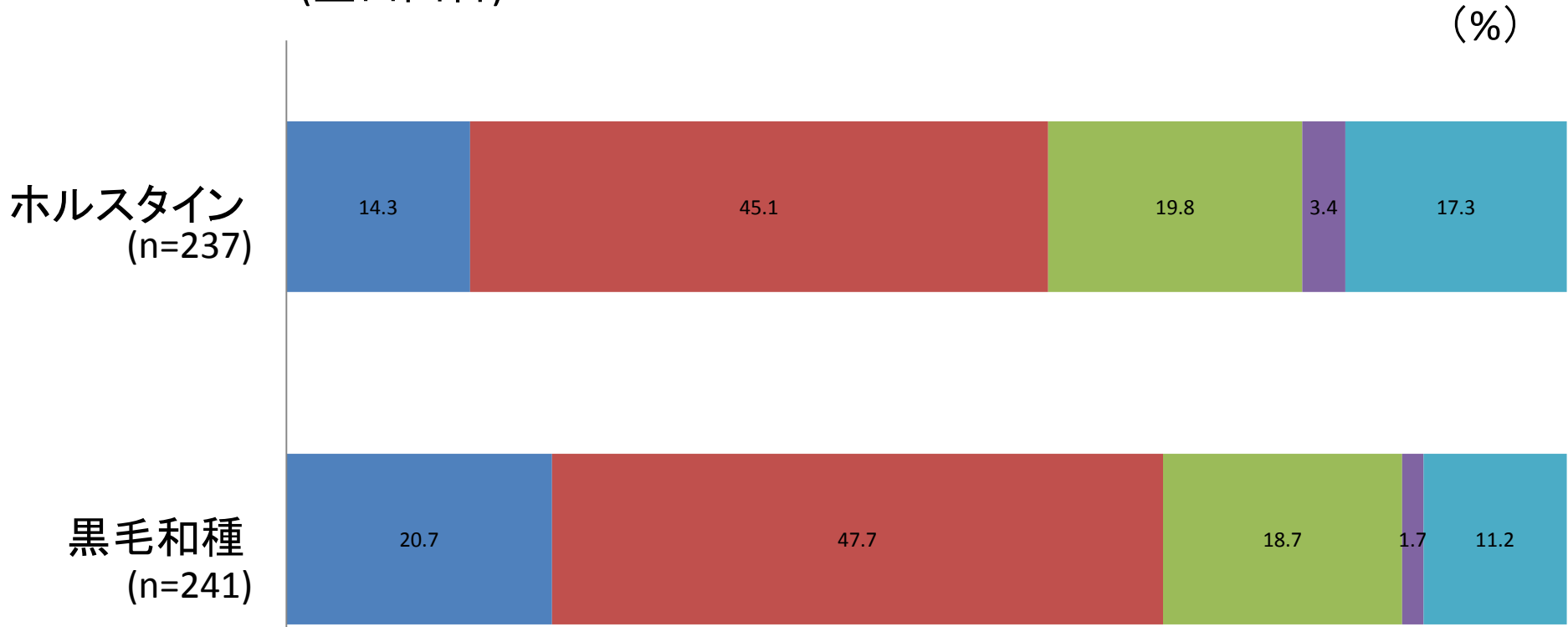
■ ホルスタイン (n=119) ■ 黒毛和種 (n=201)

(%)

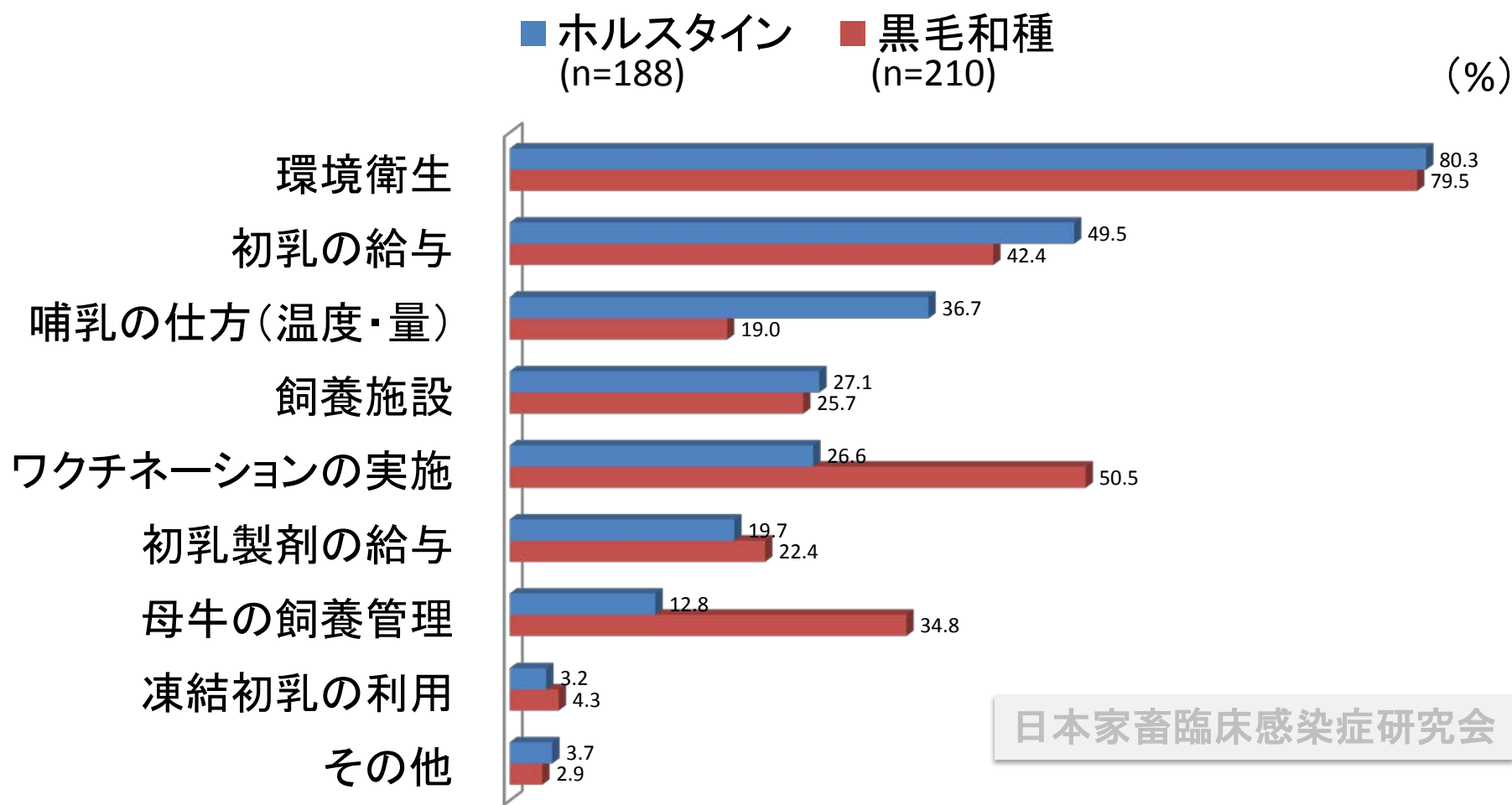


子牛の下痢が頻発する農家に対しての 管理指導を実施していますか？(1つ選択)

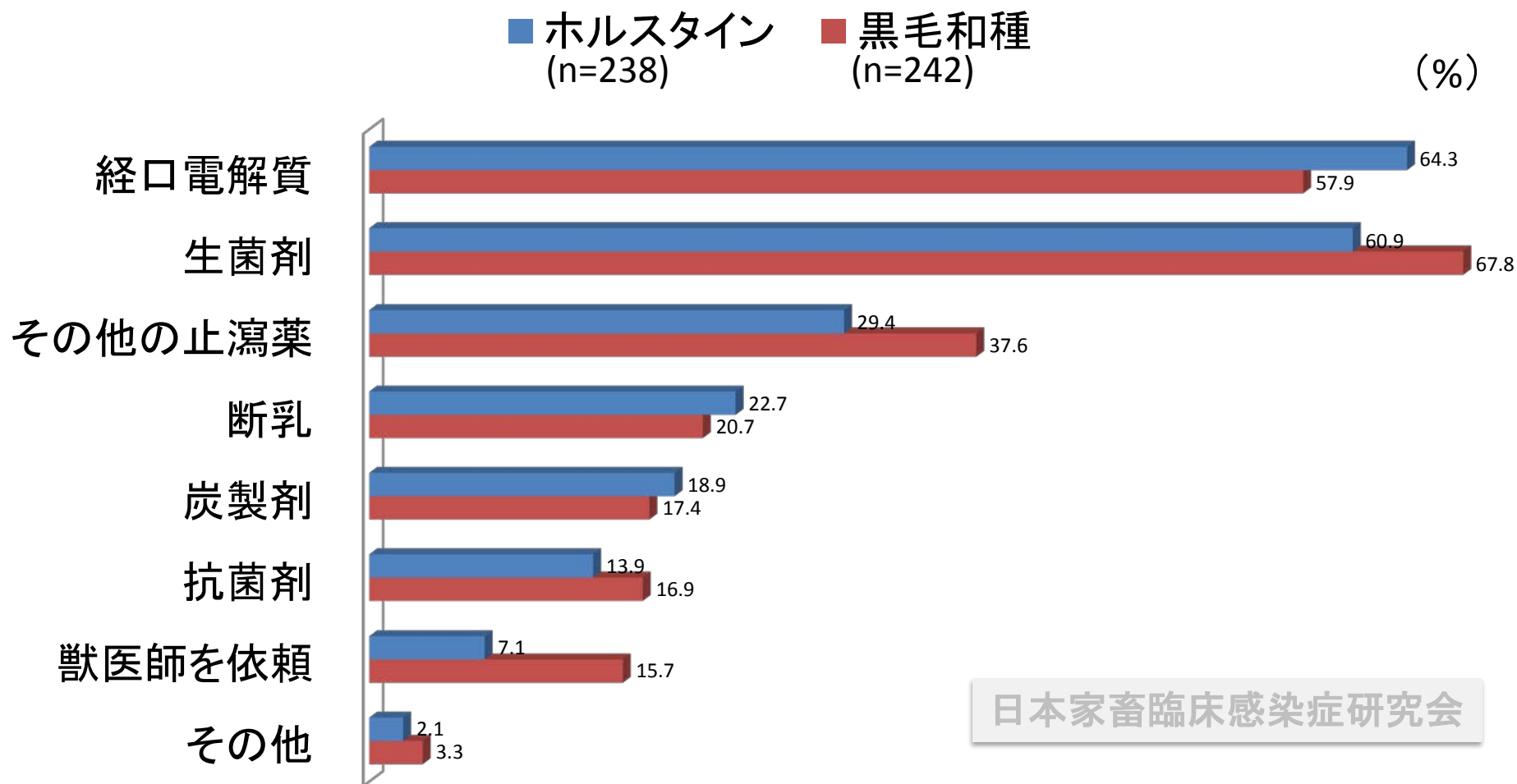
- 積極的に実施
- 農家によって実施
- 農家の依頼に応じて実施
- 実施しない
- (空白回答)



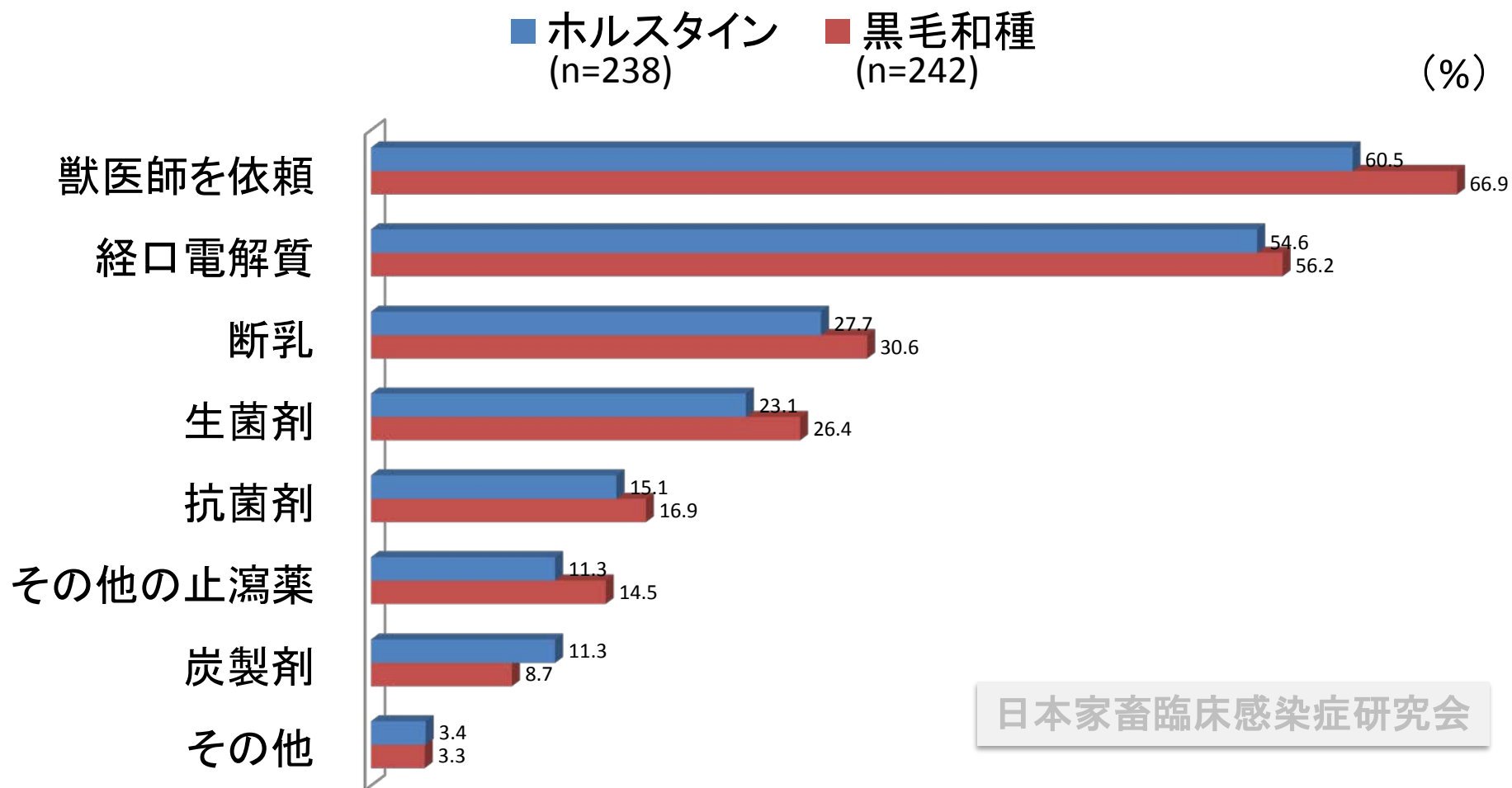
農家に対して子牛の下痢症の管理指導をする場合、どのようなことに重点を置いていますか？ (3つ以内選択)



軽症時（軽度脱水、自力哺乳可能な場合）に、 農家の自家治療についてどのような 指示をしていますか？（3つ以内選択）

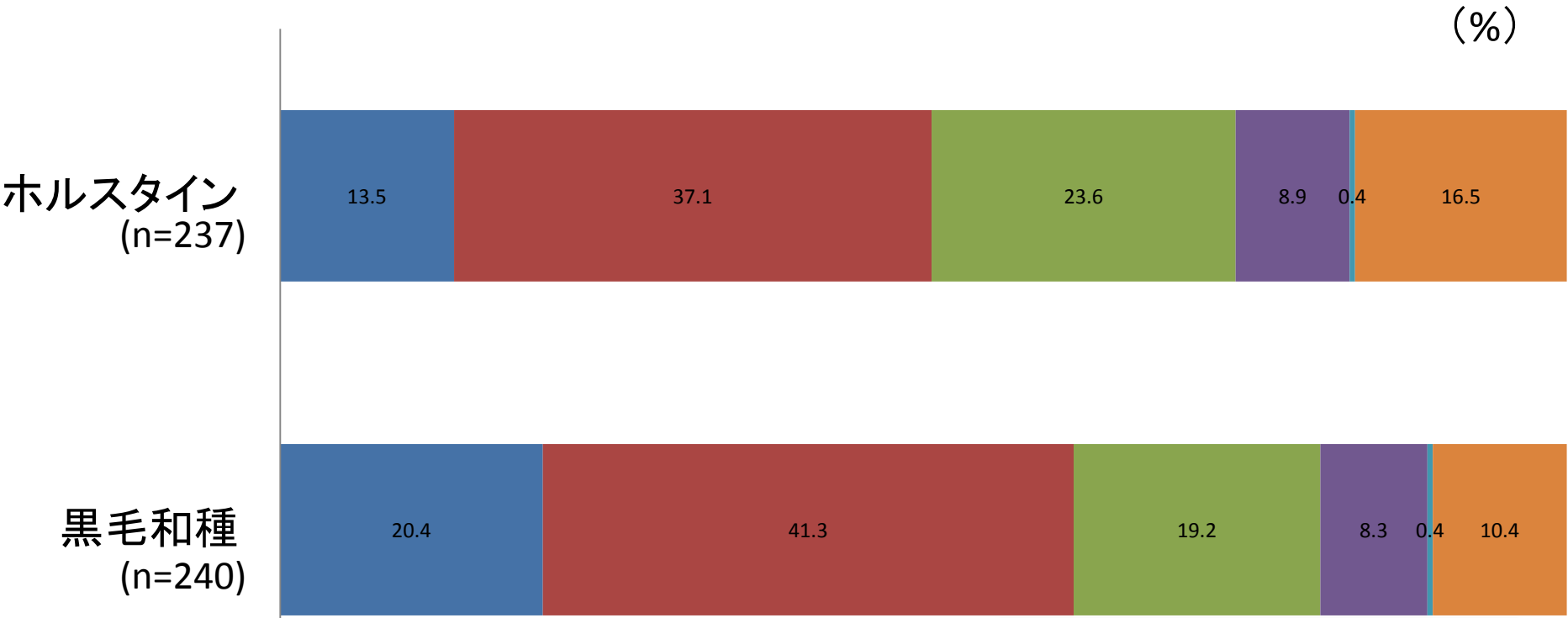


重症時（重度脱水、自力哺乳不可能の場合） に、農家の自家治療についてどのような 指示をしていますか？（3つ以内選択）



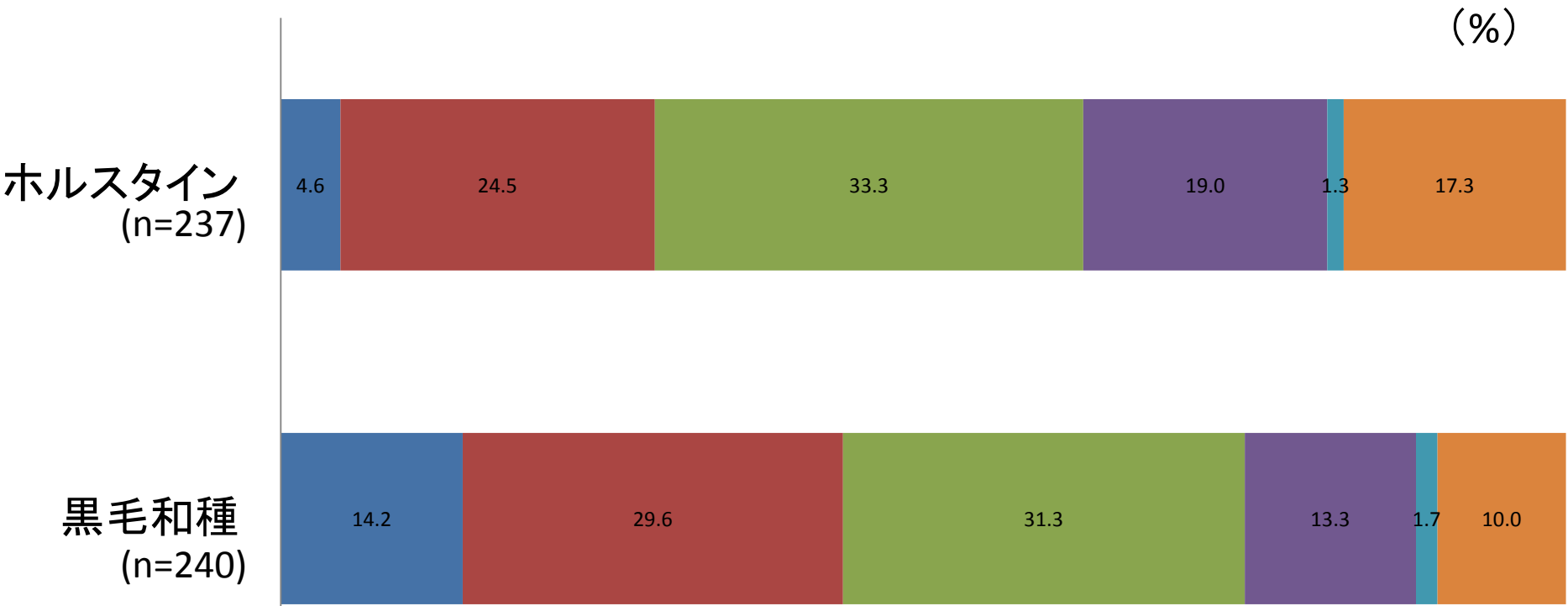
治療終了後の子牛の経過を 意識していますか？（1つ選択）

- 非常に気に掛けている
- ほとんど気に掛けている
- どちらともいえない
- ほとんど気に掛けていない
- 全く気に掛けていない
- (空白回答)



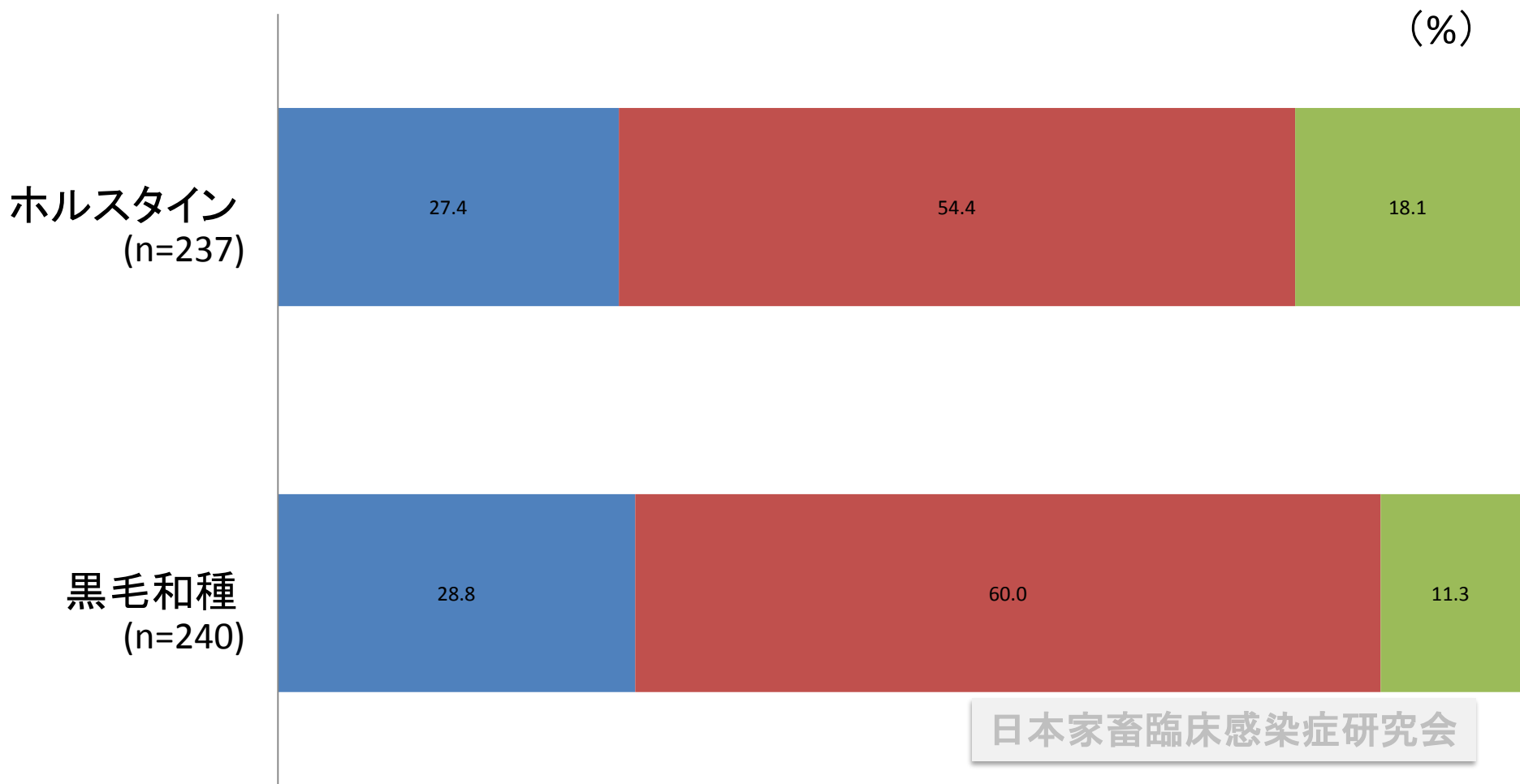
治療終了後の子牛の成長状況について意識していますか？（1つ選択）

- 非常に気に掛けている
- ほとんど気に掛けている
- どちらともいえない
- ほとんど気に掛けていない
- 全く気に掛けていない
- (空白回答)

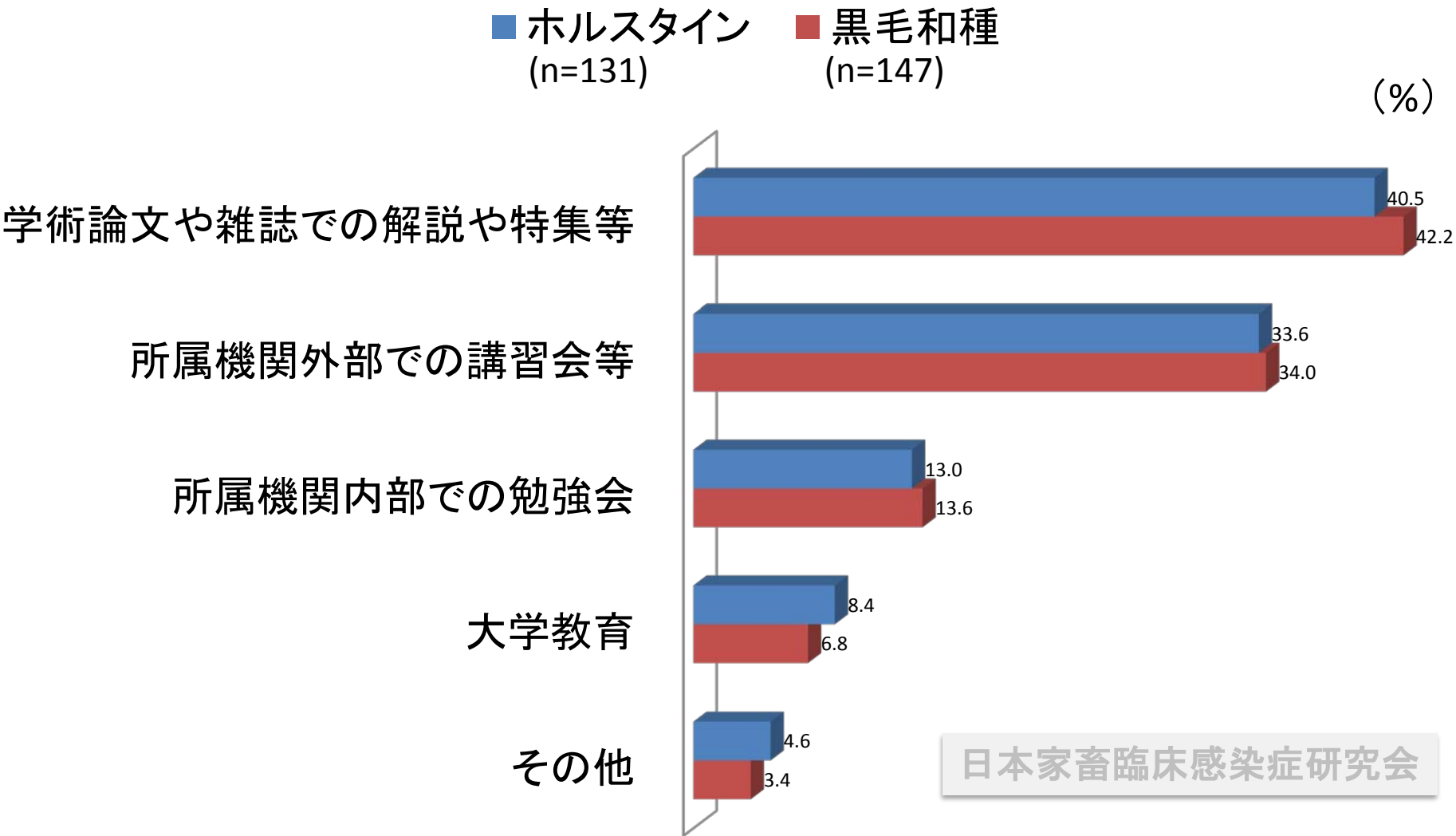


子牛の下痢症に対する有用な情報は
充分にあると思いますか？（1つ選択）

■ 充分にある ■ 充分ではない ■ (空白回答)

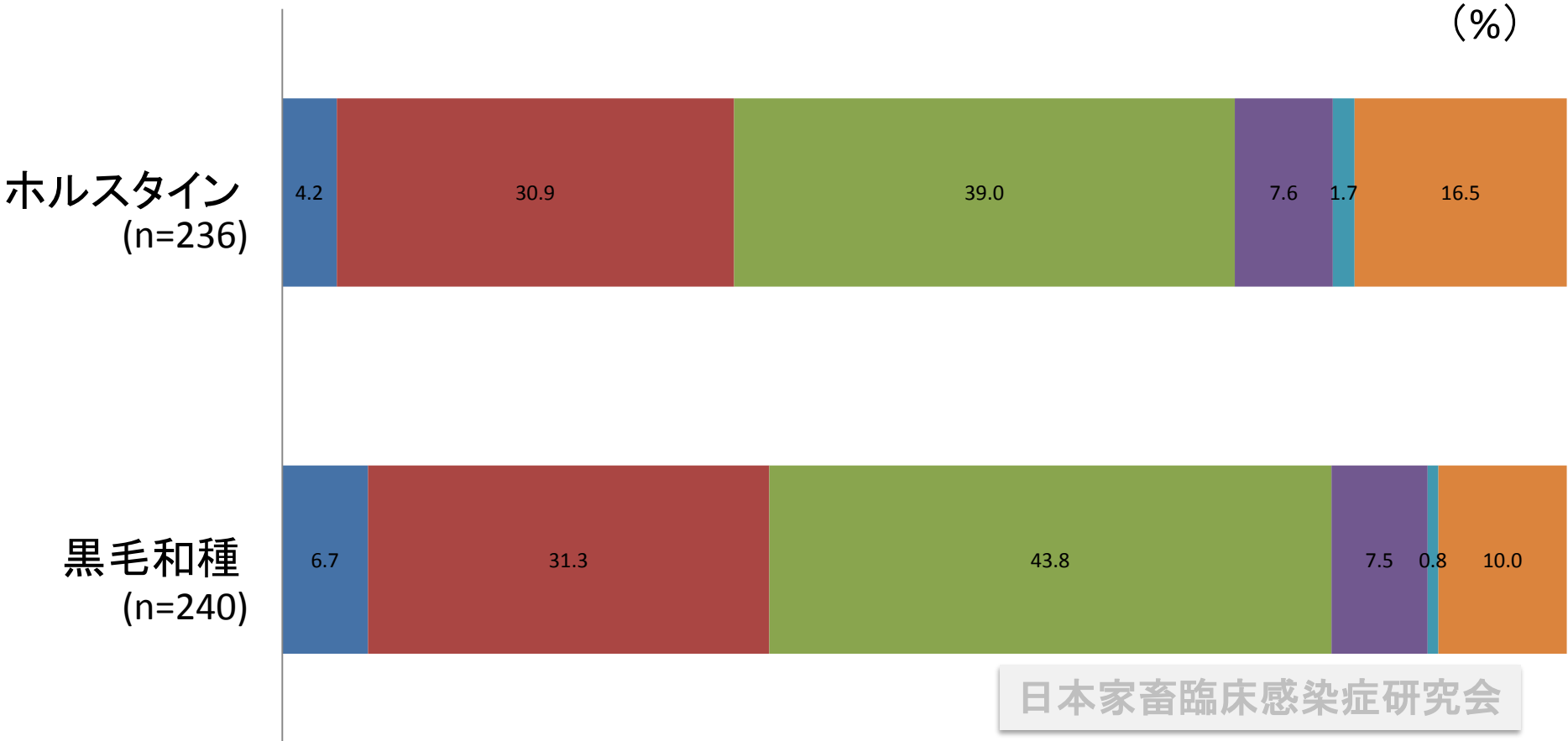


牛の下痢症に対する有用な情報源として 今後期待するものは何ですか？（1つ選択）



子牛の下痢症予防・治療に対する 自己評価をお聞きます(1つ選択)

- 自信がある
- まあまあ自信がある
- どちらともいえない
- やや苦手である
- 苦手である
- (空白回答)



本アンケート調査は、日本家畜臨床感染症研究会の平成20年度事業計画に則って行われ、実施に賛同頂いた会員各位に深謝致します。実施に当たり、各都道府県から72名の臨床獣医師（コア協力者）に各地域のアンケートの実施および取りまとめの協力を頂き、さらにコア協力者の依頼により各地域において延べ480名の臨床獣医師にアンケートを回答頂きました。また、アンケートの集計にあたり動物衛生研究所 高橋英子氏に協力頂きました。これらの方々のご協力ならびにご尽力に、心より感謝いたします。